

CSR報告書2021

Corporate Social Responsibility Report



CONTENTS

- 1 経営理念・会社概要・グループ会社紹介
- 3 トップメッセージ
- 5 中期経営計画
- 7 財務ハイライト
- 8 非財務ハイライト

事業概要

- 9 物流関連事業
- 12 情報処理事業／販売事業／その他

- 13 トナミホールディングスのCSR重要課題

安全な社会づくり

- 15 輸送の安全確保
- 18 物流品質向上

環境保全への取り組み

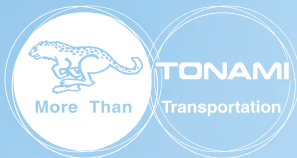
- 19 環境マネジメント
- 21 地球温暖化防止・大気汚染防止
- 23 リサイクルの推進
- 25 特集 太陽光発電所稼働

社会とのつながり

- 27 地域社会とのコミュニケーション
- 33 働きやすい職場づくり

ガバナンス

- 35 コーポレートガバナンス



経営理念

「和」の経営理念を実践し、経営基本方針に基づいて「企業の社会的責任（CSR）」を果たしていきます。

トナミホールディングスグループは、お客様に「安全・確実・迅速なサービス」を提供することを通して事業の発展をはかり、株主の皆様へ「適正で安定した配当」を継続することを経営の基本方針としています。この方針に基づいて、収益性を確保し、常に企業価値の向上に努め、その成果を株主の皆様、お客様、取引先、社員、社会と適正に分かち合うことが、トナミホールディングスグループの使命であると考えています。



会社概要 (2021年8月31日現在)

商 号 トナミホールディングス株式会社
設 立 1943年6月1日
資 本 金 14,182百万円
本 社 〒933-8788
富山県高岡市昭和町3丁目2番12号

純粋持株会社

- トナミホールディングス株式会社 富山県高岡市昭和町3-2-12

物流事業グループ会社

- トナミ運輸株式会社 富山県高岡市昭和町3-2-12
- トナミ運輸信越株式会社 新潟県新潟市西区北場1087-1
- トナミ運輸中国株式会社 広島県広島市西区草津港3-2-1
- 京神倉庫株式会社 京都府京都市下京区和気町21-1
- トナミ国際物流株式会社 神奈川県横浜市中区山下町23 土地山下町ビル7階
- 株式会社テイクワン 埼玉県川口市新堀988
- 株式会社ケーワイケー 千葉県柏市藤ヶ谷676-1
- 関東トナミ運輸株式会社 東京都中央区日本橋横山町4-5 福田ビル5階
- トナミ首都圏物流株式会社 神奈川県海老名市本郷1675
- 新潟トナミ運輸株式会社 新潟県新潟市西区北場1087-1
- 北陸トナミ運輸株式会社 富山県高岡市上四屋4-42
- 高岡通運株式会社 富山県高岡市能町1935
- 石川トナミ運輸株式会社 石川県白山市平松町158-1
- 福井トナミ運輸株式会社 福井県敦賀市羽織町13-3
- 阿南自動車株式会社 長野県諏訪市中洲5502-18
- トナミ第一倉庫物流株式会社 愛知県名古屋市中区砂美町128
- 株式会社御幸倉庫 愛知県春日井市御幸町2-5-2
- トナミ近畿物流株式会社 大阪府松原市天美北4-1-8
- 中央冷蔵株式会社 広島県広島市西区草津港1-7-7
- 新生倉庫運輸株式会社 広島県広島市南区西蟹屋3-3-26

関連事業グループ会社

- トナミビジネスサービス株式会社 東京都中央区日本橋堀留町2-8-4 日本橋コアビル7階
- 東洋ゴム北陸販売株式会社 富山県富山市呉羽町7271-1
- トナミ商事株式会社 富山県高岡市昭和町1-2-10
- トナミシステムソリューションズ株式会社 京都府京都市下京区中堂寺壬生川町20-2

海外現地法人

- 托納美物流（大連）有限公司 中国遼寧省大連市保税區南港路18-2号B棟701
- TONAMI (THAILAND) Co.,Ltd. 7th floor J.B.Building, No.32 Viphavadi Rangsit Road, Jompol, Chatuchak, Bangkok 10900, Thailand
- MAHAPORN TRANSPORT Co.,Ltd. 205/10 Moo 3 Laemchabang Industrial Estate,Thungsukla, Sriraca, Chonburi 20230, Thailand
- H&R Forwarding Co.,Ltd. 7th floor J.B.Building, No.32 Viphavadi Rangsit Road, Jompol, Chatuchak, Bangkok 10900, Thailand

関連会社及び関係先

- 北海道トナミ運輸株式会社 北海道札幌市白石区川北2246-1
- ジャパン・トランス・ライン株式会社 東京都江東区東雲1-7-30 (第一貨物株東京支店内)
- 株式会社ジェスコ 富山県富山市婦中町広田3978
- 高岡ケーブルネットワーク株式会社 富山県高岡市昭和町1-2-10
- アルハイテック株式会社 富山県高岡市オフィスパーク1
- 東砺運輸株式会社 愛知県名古屋市中区西区浮野町75

編集方針

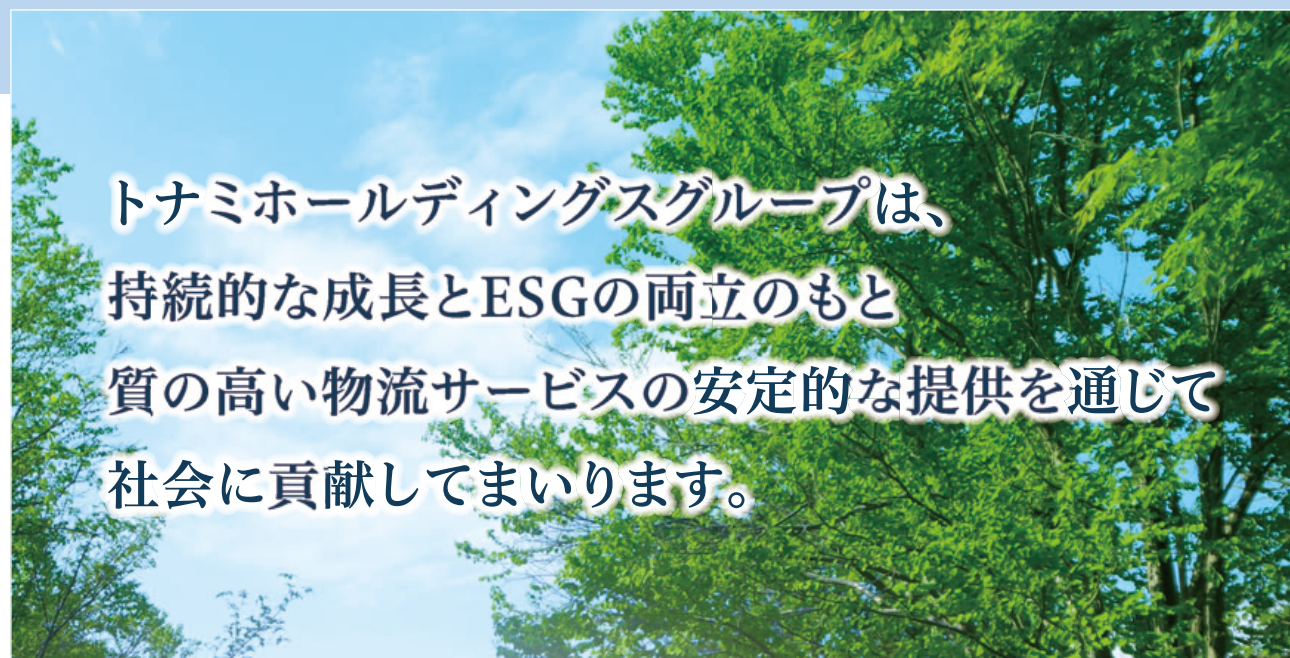
- この報告書は、2020年度を中心としてトナミホールディングスグループが行ったCSR活動を紹介しています。
- 構成にあたっては「GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード」を参考にしています。

対象期間

2020年4月1日～2021年3月31日（一部対象期間外の活動も含みます。）

対象範囲

トナミホールディングスグループすべての事業会社の活動実績を対象としています。



事業戦略とCSR経営

この度の新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げます。また、罹患された方々、感染拡大により事業や生活に影響をお受けになられている方々に心よりお見舞い申し上げるとともに、医療関係の皆様には心からの敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の社会や経済への影響は依然として続いており、ワクチン接種の進展による収束が期待される一方で、変異株の拡大が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループでは、物流を通じ、社会を支えるエッセンシャルワーカーとして、新型コロナウイルス感染症に対する感染予防策の取り組みを徹底し、お客様や社員の安全を最優先に、安定した物流サービスの維持に努めるとともに、コスト構造の見直しなど、厳しい経営環境に対応するための事業基盤の再構築を進めております。

また、少子高齢化や輸送の少量多頻度化など、物流業界における構造的な人材不足は解消していないと認識しており、ワークライフバランスの実現や女性の活躍推進など、魅力ある職場環境の実現に向けた働き方改革を推進するとともに、最新のIoT技術を活用し、DX(デジタルトランスフォーメーション)の概念も取り入れ、旧来以上の業務の省力化・生産性向上を実現するべく改善取り組みを進めております。

そのような中、当社グループは2021年度よりコーポレートスローガンを「TONAMI NEW PLAN 2023」とする第22次中期経営3ヵ年計画をスタートさせました。

推進に際しましては、

- ①輸送サービスと物流サービスの連携強化・新規流通センター開発、M&Aや事業再編による事業の成長
- ②TDX(TONAMIデジタルトランスフォーメーション)による業務効率の向上と物流・輸送の高度化
- ③多様な人材を採用確保、事業形態や地域特性に応じた人事制度の構築

④自己資本比率の向上と安定した資本政策

⑤経営品質(CSR・BCP)と成長性(ESG)評価や社会的認知度の向上

の5つの重点戦略を経営の中心に据え、「成長戦略とCSR経営」の一体的な取り組みを推進し、中長期的な成長の継続と、ESG評価の向上に努めております。

当社グループでは、アフターコロナの新しい社会構造の中ですまます多様化する物流への役割機能に対応するため、「持続可能な開発目標」に向けて、拠点整備やシステム開発に向けた投資や人材の採用・定着・育成に注力するとともに、物流施設への太陽光発電施設展開によるグリーンエネルギーの提供や、ハイブリッド車両の導入によるCO₂削減の取り組みなどの環境活動を強化し、企業理念・企業ビジョンに掲げた基本精神を遵守しつつ、環境への貢献と、持続的な成長の両立をめざしてまいります。

コーポレートガバナンスの強化

当社グループは、「安心・安全・安定」した物流サービスの提供を基本として、働きやすい職場環境の整備やIoTを最大限に活用した提案力の強化に取り組み、ライフラインの一翼を担う物流サービス機能の向上を図り、社会の期待に応えてまいります。

トナミグループ社員行動規範に則り、「事業活動のあらゆる局面におけるコンプライアンスの徹底」を行動原則として、物流事業の一層の価値創造とCSRを果たす経営に邁進してまいります。

また、「輸送の安全を確保すること」「地球環境に配慮すること」「法令やルールを守ること」「人権を尊重すること」「地域社会に貢献すること」は、SDGsに取り組む物流企業として欠くことのできない要素であり、ESGやコーポレートガバナンスのさらなる強化により、一層の社会的価値を創造してまいります。

このような当社グループのCSR活動に多少なりともご理解を頂き、今後ともみなさまから忌憚のないご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

トナミホールディングス株式会社
代表取締役社長

綿貫 勝介

TONAMI NEW PLAN 2023

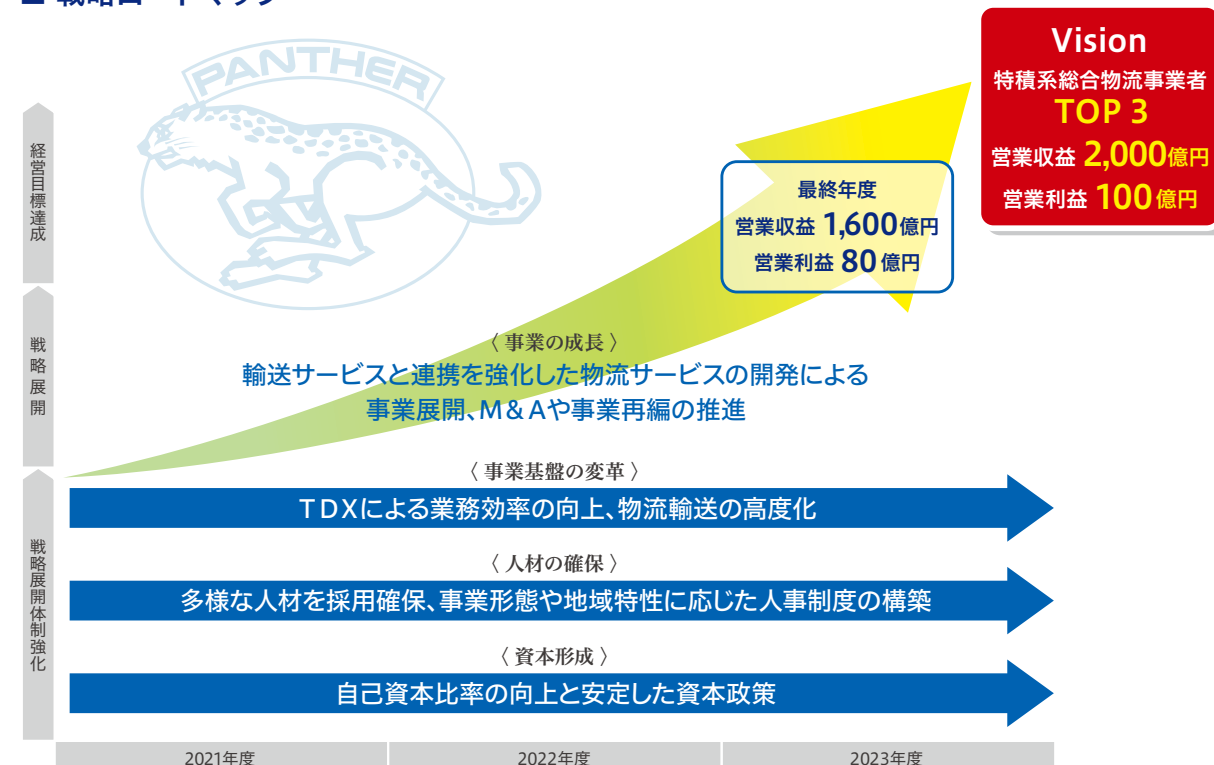
基 本 方 針

DXによる業務効率化を更に推進し生産性を上げ、
物流サービスと輸送事業の連携強化により、
新たな社会構造の中で**中長期的な成長を継続**する

重点戦略

- ▶ 特別積合せの複合ビジネスとしての戦略展開によるロジスティクスビジネスの成長
- ▶ TDXによる業務効率の向上(TONAMI デジタルトランスフォーメーション)
- ▶ 多様な人材を採用確保、事業形態や地域特性に応じた人事制度の構築
- ▶ 自己資本比率の向上と安定した資本政策
- ▶ 経営品質(CSR・BCP)と成長性(ESG)評価や社会的認知度の向上

■ 戦略ロードマップ



重点戦略 1 事業の成長

輸送サービスと連携を強化した物流サービスの開発による事業展開、M&Aや事業再編の推進

2021年9月開設予定
京神倉庫株箕面支店倉庫 (大阪府箕面市)



2021年秋開設予定
トナミ運輸株春日部流通センター※ (埼玉県春日部市) ※仮称



重点戦略 2 事業基盤の変革

TDX(TONAMI デジタルトランスフォーメーション)による業務効率の向上物流輸送の高度化



トナミグループの情報戦略を最新の情報システム技術で支援する
「トナミシステムソリューションズ株式会社」

重点戦略 3 人材の確保

多様な人材を採用確保、事業形態や地域特性に応じた人事制度の構築

働きがいのある職場環境づくり
～ 働き方改革推進継続 ～



重点戦略 4 資本形成

自己資本比率の向上と安定した資本政策

利益配分に関する基本方針

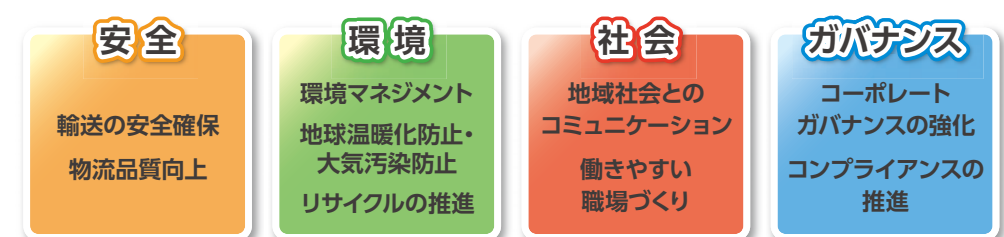
将来の事業展開に備えた成長投資の原資を確保しつつ、
財務の健全性を維持することを前提に、
キャッシュフローの水準等にも留意し、株主の皆様へ安定配当を行う



重点戦略 5 経営品質の向上

経営品質(CSR・BCP)と成長性(ESG)評価や社会的認知度の向上

トナミホールディングスグループCSR重要課題

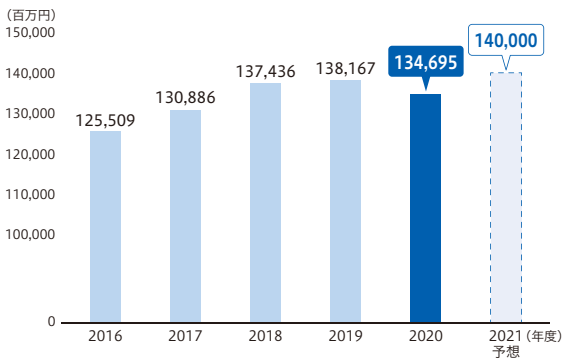


関連するSDGs

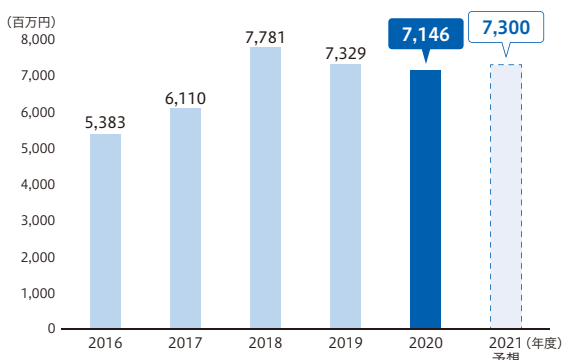


財務ハイライト

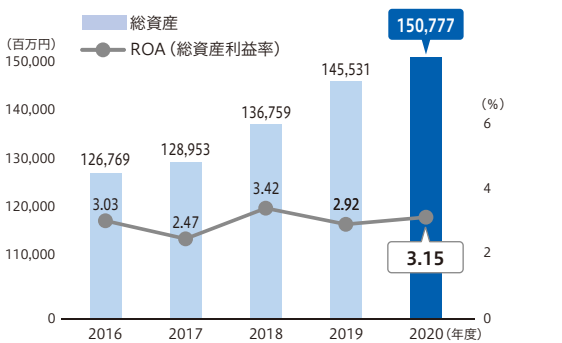
連結営業収益 134,695 百万円



連結経常利益 7,146 百万円



総資産/ROA(総資産利益率) 150,777 百万円 / 3.15%

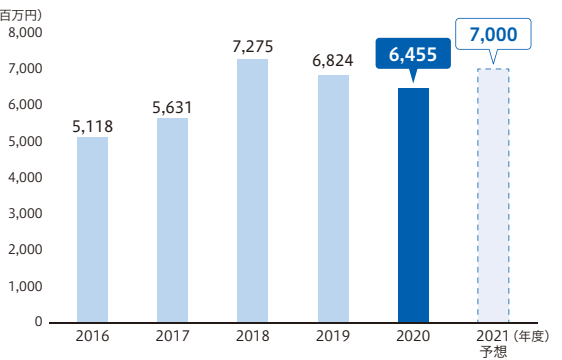


事業別連結営業収益

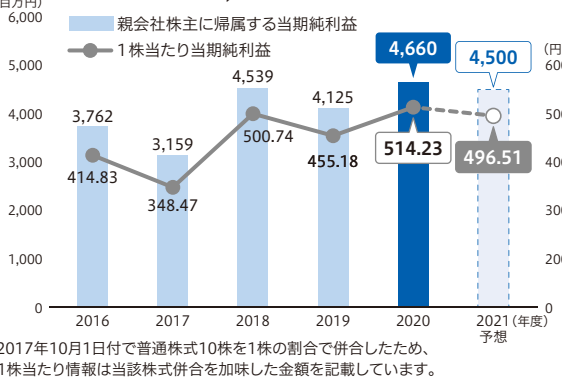
事業別	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比増減率 (%)
物流関連事業	(123,750)	(91.9)	(△2.4)
貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業	89,097	66.2	△5.3
倉庫業	30,019	22.3	8.1
港湾運送事業	4,634	3.4	△6.8
情報処理事業	(3,162)	(2.3)	(3.2)
販売事業	(6,048)	(4.5)	(△8.6)
その他	(1,734)	(1.3)	(1.8)
合計	134,695	100.0	△2.5

(注) その他欄には、自動車修理業、その他事業の各収入を含めて表示しています。

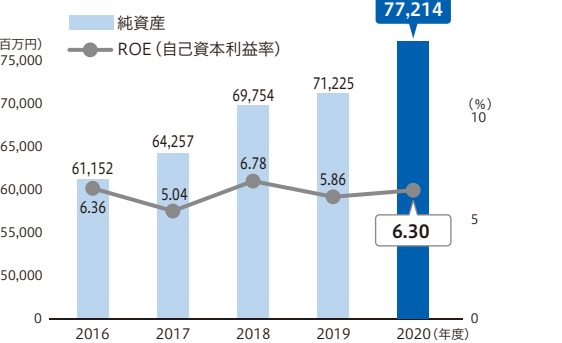
連結営業利益 6,455 百万円



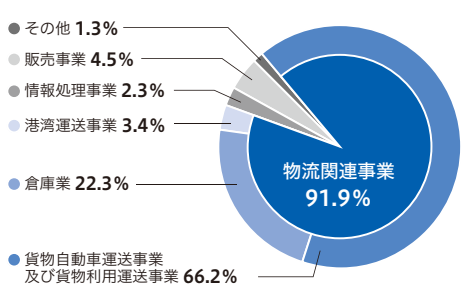
親会社株主に帰属する当期純利益 4,660 百万円 / 514.23 円



純資産/ROE(自己資本利益率) 77,214 百万円 / 6.30%



事業別連結営業収益構成比



非財務ハイライト

安全

Gマーク取得事業所数

103 事業所
※トナミホールディングスグループ



ドライブレコーダー設置台数

4,081 台
※トナミホールディングスグループ



あんぜん号受診者人数

2,252 名
※トナミホールディングスグループ



乗務員職新入社員教育受講者数

218 名
※トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国



環境

CO2排出量

93,473 t
※トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国



太陽光発電で削減したCO2

1,080 t
(~2021年3月実績)
※トナミ運輸・トナミ運輸信越・京神倉庫



使用済みタイヤリサイクル率

71.4 %
※トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国



電気リフト導入台数

939 台
※トナミホールディングスグループ



社会

使用済切手でポリオワクチン寄贈

約 1,000 名分
※トナミ運輸



地域清掃活動参加人数

1,899 名
※トナミホールディングスグループ



ランドセル寄贈数

150 個
※トナミホールディングスグループ



遠隔診断受診者数

226 名
※トナミホールディングスグループ



ガバナンス

取締役会の構成

社内取締役 5名
代表取締役社長 1名
専務取締役 2名
常務取締役 1名
取締役 1名

社外取締役 2名

監査役会の構成

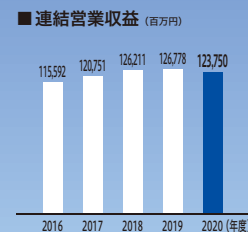
社内監査役 2名

社外監査役 2名

コンプライアンス教育受講率

97.8 %
※トナミホールディングスグループ

物流関連事業



特別積合せ貨物運送事業

日本国内外に広がる物流ネットワークを駆使して、価値ある速さを実現します

本州に点在する流通センターと日本国内外に広がる物流ネットワークを駆使し、物流拠点の点と線を効率的に結びます。高速道路網を使った大量輸送から多頻度小口配送までお客様のニーズに迅速に対応します。

トナミ特急便

ユーザビリティに徹したサービスでスピーディーに正確に、大切なお荷物を運びます。

トナミチャーター便

国内拠点を連携する物流情報ネットワークで効率的な貸切便を提供します。

ローリー輸送

日本の基幹産業である、自動車・電機・化学工業の原料・製品の輸送を行います。

エコロックシステム便

1個口からでもセキュリティ(GPS機能搭載)を付加した輸送モードにより、回収と機密消滅を行います。

パンサー宅配便

おくる人とおくられる人の思いをFace to Faceで運びます。

JITBOX チャーター便

BOX単位のチャーター便で集荷・納品・流通在庫削減を強力にサポートします。

コンビニ配送

大手コンビニエンスチェーンの配送を請け負います。

3PL(サードパーティロジスティクス)事業

お客様の物流機能の効率化や高度化を目的とした包括的なアウトソーシングサービスです

輸送・保管など基本的な機能のほか、情報システムを活用した受発注・在庫管理・仕分け・梱包など関連する業務を提供しています。

アセット型はもとより、自社保有の資産にとらわれないノンアセット提案も行っています。社会全体が環境に対する関心が高まる中、省エネ設備・技術を導入した物流施設を増やし、環境負荷を低減する取り組みを進めています。

お客様に最適な物流環境を提案するトナミのトータルマネジメント

コンサルティング機能

物流の現場を調査、分析し、最適な物流環境を提案します。

情報システム機能

お客様のニーズに合わせて、最適なシステムを提供します。

各種倉庫

全国に定温・定湿倉庫、燻蒸倉庫を保有しています。

トランクルーム

住居の新築・改装、転勤時などの家財を大事に保管します。

業務運営機能

入出庫や保管の業務などを、最適に運営します。

物流ネットワーク機能

国内外のネットワークを駆使し、物流の最適化を図ります。

流通加工

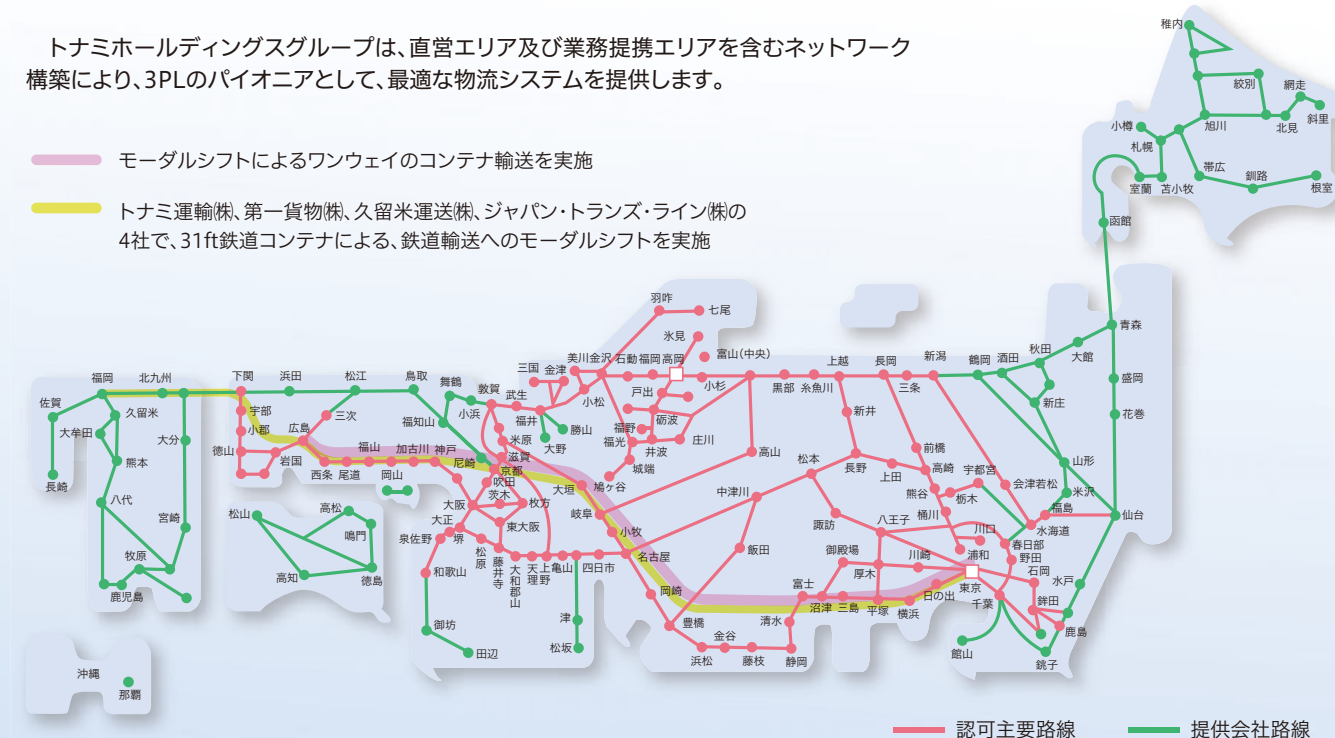
多品種小ロット商品の仕分け、検査、検品、値付け、セット組など対応します。

グループネットワーク

トナミホールディングスグループは、直営エリア及び業務提携エリアを含むネットワーク構築により、3PLのパイオニアとして、最適な物流システムを提供します。

モーダルシフトによるワンウェイのコンテナ輸送を実施

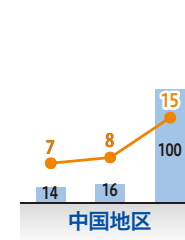
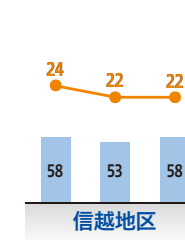
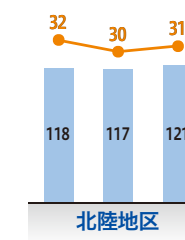
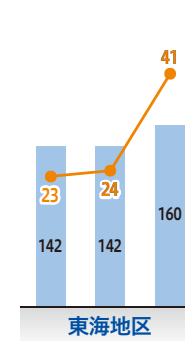
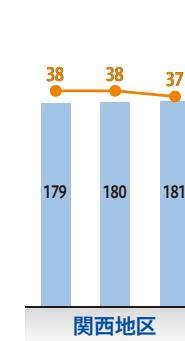
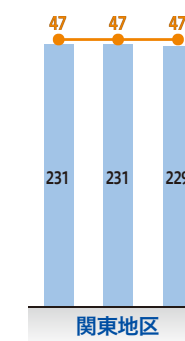
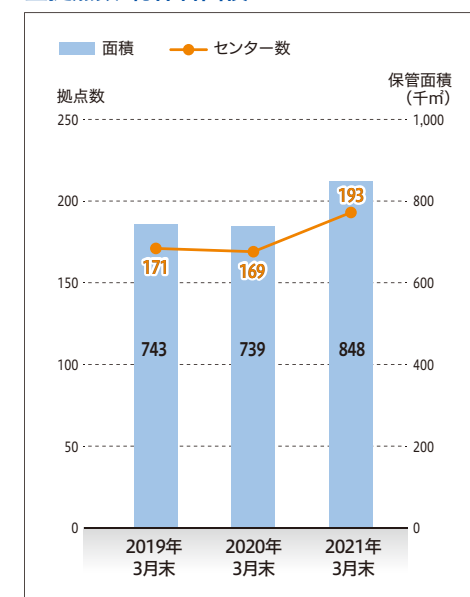
トナミ運輸(株)、第一貨物(株)、久留米運送(株)、ジャパン・トランス・ライン(株)の4社で、31ft鉄道コンテナによる、鉄道輸送へのモーダルシフトを実施



流通センター拠点数・保管面積推移

グループ全体の拠点数は、193拠点、総保管面積は848千㎡。関東・東海・関西エリアの物流機能の充実強化に取り組んでいます。

全拠点数・総保管面積





マルチトランスポート事業

国際物流事業

陸・海・空に広がる国内・国際輸送ネットワークで確実に配送します

国際航空輸送

国内と同様に安全・確実・迅速な配達を実現しています。

国際海上輸送

一般コンテナ輸送を中心に通関から船積までの一貫した海上輸送サービスを提供します。

AEO認定通関業者認定取得

コンプライアンスを重視したレベルの高い通関業務体制により通関業務を行います。

業務内容

- 輸出入通関業務
- 書類作成・申請取得業務
- 検査代行及び手続き業務
- 貨物会場保険代行業務
- 車両輸出入(在庫管理から輸出の手続き、船積作業まで)
- 貨物の特性に合わせた梱包
- 特殊貨物(規格外の大型貨物やプラント)の取扱
- 海外展示会

国内航空事業

航空機とトラックのスピーディー輸送で、“今日中に届けたい”を実現します

トナミ航空便

航空機とトラック輸送のコンビネーションで物流シーンのシナジー効果を発揮します。

引越事業

人の笑顔、家族の幸福を全国どこへでも運びます

引越優良事業者として「引越安心マーク」を取得しており、お客様の立場に立って品質第一を心がけています。

オフィスの引越

オフィスや店舗、工場をまるごと引越。業務に支障なく、移転業務が完了します。

住まいの引越

荷造りから輸送まで、丁寧・確実に、家族の大切な荷物を思い出・幸福とともに運びます。

産業廃棄物の収集運搬

環境関連法を遵守し、環境省広域認定制度のコンサルティングから運用に関して最適な物流を提案します。

通運事業

地球環境にやさしいコンテナ輸送でCO₂を削減します

鉄道の大量高速性とトラックの機動性をドッキングさせたJRコンテナ輸送のモーダルシフトを推進しています。

ビジネスサポート事業

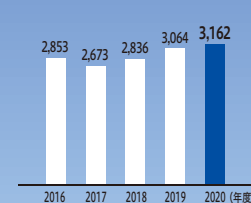
24時間365日、お客様の「目」と「耳」になり、物流を監視・管理し高品質な配送を提供します

業務内容

- 全国に配置した専用拠点とコンピュータシステムにより、24時間365日対応の配送が可能です。
- 専用システムによりお客様がリアルタイムに必要な物流情報を取得、確認できます。
- 配送工程・入出庫工程などすべての工程に対するレポート機能が充実しています。
- リアルタイムでのデータ更新、ならびに照会が可能です。

情報処理事業

■連結営業収益(百万円)

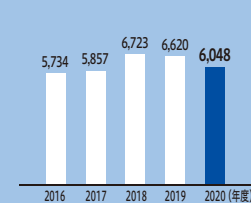


物流業務の効率化とサービス向上をめざします

- システム開発
- サーバーの集中管理システム
- 貨物照会システム
- 配車支援システム
- 多種多様なデータ通信システム
- 自社開発の運用管理システム
- ハードウェア販売
- 保守サービス
- 情報分析サービス
- インターネットサービスの展開
- データセンターサービス
- ホスティングサービス
- ソフトウェア開発
- ソリューションサービス

販売事業

■連結営業収益(百万円)

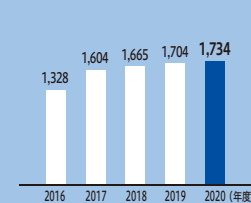


お客様のニーズに幅広いサービスと商品を提供します

- 北陸の名産品販売
- タイヤ販売
- 各種燃料の販売及び宅配
- 各種保険
- ギフトカード・お土産品販売
- トナミ運輸バドミントン部オフィシャルショップ
- 工業用品の販売
- 旅行プランの提供
- 不要パソコン・OA機器回収

その他

■連結営業収益(百万円)



車両整備事業

信頼の絆を育む、トナミ独自の安心車検です

- 車両整備サービス
- タイヤ保管サービス

食品製造

食品の安心・安全・多様化・安定供給について取り組み、地域の皆様の食生活の向上に貢献しています

- 純水製造
- 食品保管

環境関連

地球と人にやさしい、循環型社会をめざして様々な活動を推進しています

- 資源リサイクルシステム

太陽光発電事業

温室効果ガス削減の取り組みの一環として太陽光発電事業を開始しました

トナミホールディングスCSR重要課題特定のプロセス

重要課題の整理

「GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード」の標準開示項目により整理しました。



特定した重要課題

上記で整理した重要課題候補をもとに、ステークホルダーとトナミホールディングスグループの双方にとって重要性の高い項目について、トナミホールディングスグループのCSR行動指針との関連性を考え、トナミホールディングスグループの重要課題としました。

輸送の安全確保	環境マネジメント	地域社会とのコミュニケーション	コーポレートガバナンスの強化
物流品質向上	地球温暖化防止・大気汚染防止	働きやすい職場づくり	コンプライアンスの推進
	リサイクルの推進		

持続可能な開発目標

(Sustainable Development Goals:SDGs)

2015年9月、国連サミットにて「持続可能な開発目標 (SDGs)」が全会一致で採択されました。2030年までに達成するべく、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動などに関する17のゴールが宣言されています。



トナミホールディングス2021年度CSRの取り組み

項 目	重要課題	具体的取り組み	関連するSDGs
安 全	輸送の安全確保	安全管理体制の整備 ドライバーの安全教育 安全確保のための設備導入 危険予知訓練の実施	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを
	物流品質向上	物流品質マイスター制度 段ボール養生板の導入 異常商品写真共有システムの導入 物流品質向上のための社員への教育	8 働きがいも経済成長も 9 産業と雇用革新の加速につなぐ 11 住み続けられるまちづくりを
環 境	環境マネジメント	環境方針の制定 ISO14001の取得 環境負荷軽減への取り組み グリーン経営認証の取得	6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も
	地球温暖化防止・大気汚染防止	CO ₂ 排出量削減に向けた取り組み 太陽光発電所稼働 省エネ設備の導入 環境に優しいトラックの導入 エコドライブの実践 燃費向上運動の実施 「トナミの森」CO ₂ 排出量削減・里山再生プロジェクト	9 産業と雇用革新の加速につなぐ 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう
	リサイクルの推進	使用済みタイヤのリサイクル 使用済みコピー用紙・ラップ・段ボールのリサイクル 古紙再生トイレトペーパーの販売	
社 会	地域社会とのコミュニケーション	新型コロナウイルス感染症対策への取り組み 福祉支援活動 交通遺児支援募金 AEDの設置 防火講習会の実施 ペットボトルキャップの収集 使用済み切手の寄贈 ランドセル寄贈 募金型自動販売機 こども110番の家 地域清掃活動 ベルマークなどの収集 お菓子の寄贈 献血の実施 インターンシップ 会社見学 支援学校就業体験 チケットの贈呈 プロ・アマスポーツチームへの協賛 スポーツ支援活動	1 貧困をなくそう 2 健康をこころに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を實現しよう 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
	働きやすい職場づくり	健康経営の推進 メンター制度 女性ドライバーの活躍 女性営業スタッフの活躍	4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を實現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう
ガバナンス	コーポレートガバナンスの強化	コーポレートガバナンスの強化 内部統制システムの整備	16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで目標を達成しよう
	コンプライアンスの推進	コンプライアンス・リスク管理体制の整備 相談窓口の設置	

Safety

安全な社会づくり

輸送の安全確保

トナミホールディングスグループの交通事故防止への取り組みは、事業の中だけでなく地域社会にまで展開し、安全な社会づくりに貢献していきたいと考えています。

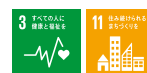
輸送の安全に関する基本的な方針

輸送の安全に関する基本的な方針を設定しています。

1. 当社の安全衛生は、従業員の生活と安全を守ることを基本とする
2. 常に安全・確実・迅速なサービスを提供する
3. 交通事故のない社会を作り上げるための牽引車となるべき行動を取る
4. あらゆる機会を利用し、地域の安全推進企業として社会に信頼されるよう模範行動に徹する

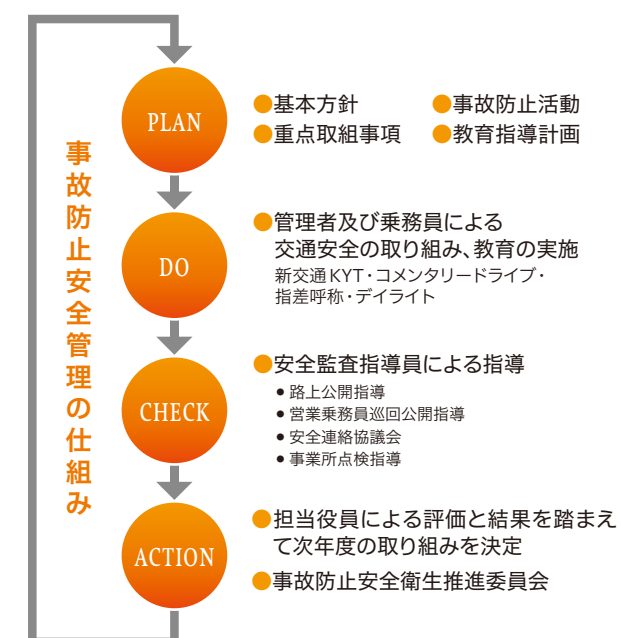
COLUMN 運転適性診断車「あんぜん号」

営業用車両の管理については、日常的に法令を遵守することを基本に、ドライバーとしての適格性を確保・安全運行に努めることを責務として業務に取り組んでいます。その一環として、あんぜん号の事業所巡回による運転適性診断指導を行っています。今後とも、ドライバーの一層の安全適性の確保に努め、運送事業者としての社会的責任を担っていきます。また、地域の交通安全指導にも貢献していきます。



安全管理体制

交通事故防止や労働災害防止などを目標として、事故防止安全衛生推進委員会組織を設置し、常に多様な課題に対して討議を行いながら、安全面・衛生面の向上に取り組んでいます。また、交通安全の取り組みは、PDCAサイクルを回し、継続的な改善を実施することによって、次年度の取り組みにつなげています。



安全管理強化システム

事故防止の強化を図るため、乗務員一人ひとりに3段階評価を実施し、結果に応じた指導を行う「安全管理強化システム」を推進しています。



新入ドライバーの安全教育

ドライバーの新入社員安全教育として、自動車学校の教習コースを使い、安全指導員によるトラック運転技術、整備検査員による車両点検などの安全教育研修を行っています。研修では、トラックドライバーとしての営業知識や任務についての講義のほか、国土交通省の教育指針に合わせ、トラックの特性による死角や内輪差、夜間の目測・色別の体験教育や健康管理など、プロドライバーとしての自覚と事故の未然防止のための運転行動及び安全運転のための留意点などについて教育しています。また、性格検査結果による運転指導やアンケートによるメンタルケアにも取り組んでいます。

家族交通安全ポスター

トナミ運輸労働組合では、事故防止の取り組みとして、組合員の家族のみなさんに交通安全に関するポスターを募集しま



家族交通安全ポスター

した。優秀作品は常にドライバーの目に留まる場所に掲示しています。

今後も家族の願いを心に刻み、一層の交通事故防止に努めます。

通信型デジタルタコグラフを導入

トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国の運行車約1,000台にドライブレコーダー機能とETC車載器を一体化した通信型のデジタルタコグラフ（運行記録計）を搭載し、2019年4月より運用を開始しました。

通信型のデジタルタコを導入したことにより、①安全運行の強化、②労働時間管理の高度化、③省燃費運転の推進、④顧客への迅速対応によるサービス品質の向上、⑤危機管理の強化の5点の効果を見込んでいます。



危険予知訓練

ドライバーの危険感受性を高めることを目的として、日々の出発前点呼時にKYT（危険予知訓練）を行っています。運転中にひそむ危険要因とそれを引き起こす現象を、写真を使って



指差唱和・指差呼称で確認し、考え合いながら、行動する前に解決できるよう訓練しています。

ドライバーの育成

優秀なドライバーを育成するため、教育制度を充実させ、安全運転・事故防止などの指導に取り組んでいます。

- 安全監査指導員による全国の事業所への監査指導と教育
- 営業職リーダー研修
- 国土交通省告示1366号教育
- 乗務職リーダーの班員教育

■ ドライブレコーダーの導入

ドライブレコーダーの導入を推進しており、グループ全社で約4,000台の運行車や集配車に取り付けています。ドライブレコーダーは事故処理時だけでなく、管理者がドライバーの運転画像をチェックして安全運転指導を行い、交通事故防止のために役立っています。



■ バックカメラの導入

主に集配車を中心にバックカメラの取り付けを推進しており、現在までに約1,500台以上のトラックに設置を完了しています。バックカメラを設置することで、後方の安全を明確に確認することが可能となり、後方の追突事故を減少させることができました。

デジタル式運行記録計、ドライブレコーダーやバックカメラの導入により、ドライバーの安全運転をサポートし、さらなる安全な社会づくりに貢献していきます。



■ 安全性優良事業所(Gマーク)

公益社団法人全日本トラック協会が認定する、安全性優良事業所(Gマーク)の取得を推進しています。Gマークを取得



安全性優良事業所認定証

することにより、お客様に安心して当社グループを利用して頂く基準となるとともに、トナミホールディングスグループ全体の安全性の向上に対する意識を高めるための環境整備を図るという目的があります。今後はさらにこの取り組みを推進し、より高い安全性を追求していきます。

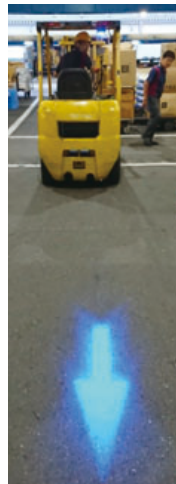
■ フォークリフト後退時のブルーライト点灯

フォークリフト後退時の労災事故、商品事故防止を目的とした取り組みとして、ブルーライトの設置を行い、2020年7月にトナミ運輸すべての店所で所有しているフォークリフトに設置が完了しました。

社員の反応として、「リフトの後退音に加えライトの設置により、耳と目で確認することができ、作業中や台車移動中の早い段階で危険を回避することができる」と好評を得ています。



回転灯



ライト点灯

■ プラットホーム上モニタリングカメラ導入

トナミ運輸路線店所49店所の内、43店所にネットワーク型のモニタリングカメラを導入しています。このカメラは、本社、管轄する主管支店、物流品質マイスターからも遠隔での監視を可能とし、リフト操作、トラックへの積み込みや荷卸し、ホーム



上の商品保管状況、荷扱いの様子(特に深夜・早朝)を常時モニタリングし、社員の安全作業指導に役立てる独自の取り組みをしています。

COLUMN ハイウェイレディ

トナミ運輸は、富山県高速道路交通安全協議会の委託を受けて、当社社員をハイウェイレディとして派遣し、高速道路を利用するドライバーなどの交通安全意識の向上を目的に、富山県内のインターチェンジやサービスエリアで安全運転を呼びかけています。



呉羽パーキングエリア
交通安全街頭キャンペーン

物流品質向上

トナミホールディングスグループは、総合物流企業として社会に寄与し、常に安全、確実、迅速なサービスを提供し、顧客ニーズに対応しています。

■ 物流品質マイスター制度

トナミ運輸独自の「物流・安心品質づくり」のノウハウの継承を促進する有効な手段として、物流業界では類を見ないものであり、輸送品質のさらなる向上をめざし「お客様の高い評価と信頼を勝ちうる品質の実現」を目的として、2009年10月から制度を導入し、2020年度は7名のマイスターを認定しました。

過去5年間の実績として商品事故を約40%削減することにも成功し、そのほか、新たな「物流品質向上」に向けた取り組みの先行導入を検証する役目も担っています。

今後も人材育成の一環として、優れた技能・スキル・マネジメント力を持った社員の育成を促進し、お客様の立場を一層重視した物流品質を安定的・継続的にお届けする「組織づくり」をめざしています。

活動内容

- ①管轄主管店所の現場点検
- ②物流品質マイスター会議開催
- ③物流品質マイスターニュースの発行
- ④荷主品質会議に出席
- ⑤主管支店主催の担当者会議に出席
- ⑥取り組み先行導入の検証実験



2020年度認定の物流品質マイスター

■ 物流品質向上のための社員への教育

トナミ運輸は物流サービスの提供にあたっては、効率化を図り、さらにより高い品質をめざし、事業が絶えず成長を続けるため、品質方針に基づいて行動します。「会社主導」の取り組みから“現場が主役”の取り組みへ社員一人ひとりが自ら考え、行動する生きた組織を目標とし、日々社員の意識向上のための取り組みを促進しています。

また、トナミ運輸全事業所において「トナミ・クオリティ10」を展開し、さらなる物流品質の向上をめざしています。



ISO9001 適合証明書

■ 異常商品写真共有システムの導入

トナミ運輸では、お客様からの「異常発生時の連絡を早くしてほしい」「異常が発生した際は、該品の写真をすぐに送ってほしい」といった声にお応えするために、ドライバーが使用する携帯端末で商品の写真を撮影することにより、事務員がその写真を共有できるシステムを構築しました。全社への導入は、2020年10月に完了しました。

お客様への早期連絡に加え、社員の商品事故防止への意識向上、発生場所の特定による再発防止にもつながっています。



■ 段ボール養生板の導入

トナミ運輸では、ホーム上のパレット商品やそのほか保管中の商品を守るため、養生板を使用しています。養生板は2010年に導入し、当初は横90cm×60cm程のベニヤ板を2枚つなぎ合わせたものが主流でした。その後、より使いやすいプラスチック養生板を全店展開し、2020年2月に黄色の段ボール製養生板を導入しました。警戒色として目立つため、今まで以上に保管時の商品に対する社員の意識が高くなり、併せて商品への取り扱いが丁寧になりました。現在、全社に約



13,000枚を導入し、商品保護を行っています。また、段ボール製であり、環境にも配慮した商品事故防止アイテムとして導入しました。

Environment



環境保全への取り組み

環境マネジメント



私たちは、安全で確実・迅速な輸送サービスをお客様に提供し、ご満足頂くことが第一の使命であると考えます。同時に私たちを取り巻く環境問題についても、私たちにふさわしい責任を果たすことをめざします。

環境方針

トナミ運輸は、環境活動を推進するための環境マネジメントに取り組んでいます。次の環境方針を定め、様々な活動に目標を持ち、結果を見直し、継続的改善に向けて、体制強化に努めています。

地球環境を守る事は、あらゆる生命の生存に関わる最重要テーマであると認識し、「輸送を通じ社会に寄与し、地球環境の保全に努める」を基本理念として、以下の方針に基づいて取組みます。

1 輸送サービスを提供することによって生じる環境汚染に対して、次の事を守ります。

- ①環境に優しい車の導入を図ります。
- ②エコドライブの実践に取組みます。
- ③物流の効率化を通じて、地球環境に優しい物流システムを構築します。
- ④リサイクルシステムを構築し、循環型社会づくりに貢献します。
- ⑤環境に優しい商品の開発、提供を推進します。
- ⑥省資源、省エネルギーに継続的に取組み、日々、改善を図ります。

2 環境に関する国・地方自治体等の法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守し、環境保全に努めます。

3 環境目的及び環境目標を具体的に定め、定期的にレビューを実施し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を致します。

4 社内環境教育、啓発活動を通して全従業員に本方針を周知すると共に、一般にも公開し、さらに、地域社会への環境保全活動に積極的に参加します。

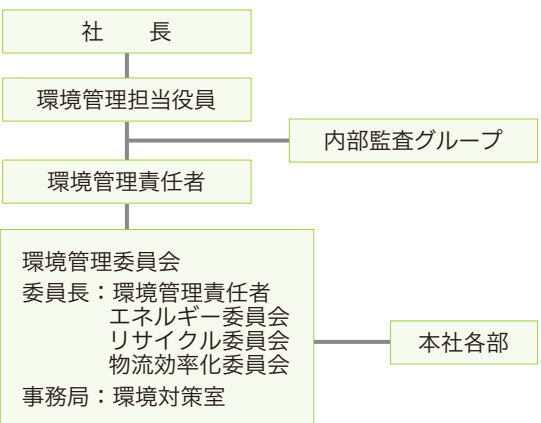
ISO14001 (環境マネジメントシステム)の活動

トナミ運輸は、2003年10月、本社において環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しました。以来、毎年、の定期審査と3年ごとの更新審査において、基準に適合していることを認証されています。

今後も環境負荷軽減のための目標を設定し、1.Plan (計画) 2.Do (実行) 3.Check (点検) 4.Action (見直し) を繰り返すことによって、その達成に向けた取り組みを実践し、継続的改善を図っていきます。

ISO14001 適合証明証

環境管理組織図 ※トナミ運輸



環境負荷軽減への取り組み

当社グループは、「Do Eco!」をスローガンに社員一人ひとりが日常、気軽にできる5つの取り組みを設定しています。



Do Eco! ポスター

5つの取り組み

- ① 省電力の推進
- ② コピー用紙使用量の削減
- ③ ゴミ分別の徹底
- ④ 安全な走行を心掛けよう
- ⑤ アイドリングストップの実施

グリーン経営認証の取得状況

当社グループの物流事業会社9社は、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団が運営しているグリーン経営認証制度において適合していることを認証されています。今後もグリーン経営推進マニュアルに基づきエコドライブや低公害車の導入などの取り組みを実施しながら、物流における環境保全の実効性向上につなげていきます。



グリーン経営認証登録証

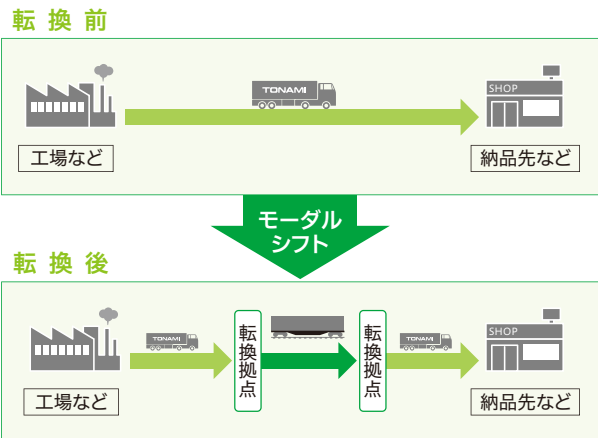
グリーン経営認証取得会社

トナミ運輸 富山支店 南大阪支店	阿南自動車 本社 長野営業所 豊科営業所 松本支店 諏訪営業所	北海道トナミ運輸 東北営業所 江別営業所 苫小牧営業所 帯広事業所 岩手営業所
福井トナミ運輸 敦賀本社	北陸トナミ運輸 本社営業所	新生倉庫運輸 広島中央支店 広島東部支店 広島西部支店 岡山支店 岡山流通センター 防府営業所
高岡通運 本社	京神倉庫 葛西支店 久御山支店	
ケーワイケー 本社		

地球環境にやさしいコンテナ輸送でCO2を削減します

JRコンテナ輸送のモーダルシフトを推進しており、トラック輸送の削減による環境負荷低減と同時に、交通事故防止や長距離運行などの効率化につなげています。

モーダルシフトの仕組み



地球温暖化防止・大気汚染防止



CO₂などを中心とする温室効果ガスの増加は、地球温暖化に大きく影響します。低公害車の導入や、輸送の効率化、各種省エネ設備の導入など、温室効果ガス削減のための取り組みを積極的に進めています。

CO₂排出量の削減に向けて

トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国は、エコドライブの実践や低公害車や省エネ設備の導入など環境負荷低減への取り組みを進めた結果、2020年度のCO₂総排出量は、93,473 t-CO₂となりました。また、エネルギー使用の合理化に関する法律(省エネ法)において特定貨物輸送事業者として、貨物輸送のために使用した燃料から発生するCO₂総排出量を2021年度までに2016年度比で5.5%削減することを目標にし、4つの項目に取り組んでいます。その結果、2020年度のCO₂総排出量は78,530 t-CO₂となり、2016年度の82,700 t-CO₂と比較して約5.0%削減することができました。

2015～2020年度CO₂排出量(トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国全事業所と全車両(リフト含む)対象)

使用エネルギー	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2016年度比
軽油	84,459	85,130	85,432	84,351	81,250	79,859	93.8%
ガソリン	991	1,083	947	798	726	701	64.7%
A重油	263	248	282	231	217	213	85.9%
LPG(リフト)	729	788	749	764	686	604	76.6%
CNG	2,502	2,549	2,470	2,307	1,913	1,568	61.5%
LPG(湯沸)	324	299	312	297	286	283	94.6%
灯油	239	271	187	183	147	195	72.0%
都市ガス	39	34	30	30	28	23	67.6%
電力	12,323	12,399	11,825	11,806	11,260	10,029	80.9%
CO ₂ 総排出量	101,868	102,802	102,232	100,765	96,513	93,473	90.9%
そのうち輸送に伴うCO ₂ 総排出量	82,000	82,700	82,500	81,400	79,980	78,530	95.0%

※温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧(2010.3改正) 参照

2017～2021年度の取り組み(特定貨物輸送事業者として)

取り組み項目	期待効果	進捗状況(2020年度)
エコドライブの実践 全車両/燃費3%の向上	原単位3.0%向上 (2,054 t-CO ₂ 削減)	デジタル式運行記録計の活用や エコドライブ教育などを継続的に実施中
輸配送コースの見直し 実車率の向上 (運行車1運行5km、集配車10km/月)	原単位1.0%向上 (678 t-CO ₂ 削減)	車両の走行キロ削減などの効率化を推進中
輸送効率の改善 積載率1%の向上	原単位1.0%向上 (471 t-CO ₂ 削減)	車両積載率87.3% (2019年度比7.5%低下)
モーダルシフトの実施 長距離運行系統 (東京～広島)の鉄道コンテナ化	原単位0.5%向上 (500 t-CO ₂ 削減)	鉄道によるコンテナ輸送継続実施中

各種省エネ設備の導入

屋上緑化設備

節電対策の1つとして、トナミ運輸川崎支店の睡眠室棟に屋上緑化を採用しました。夏場は外からの熱流入を81%カットし、冬場は室内からの熱放出を45%カットできる点が特徴となっています。このためエアコンの使用量が減り、年間2,600kWhの節電と1.8t-CO₂排出量の削減をしています。



屋上緑化

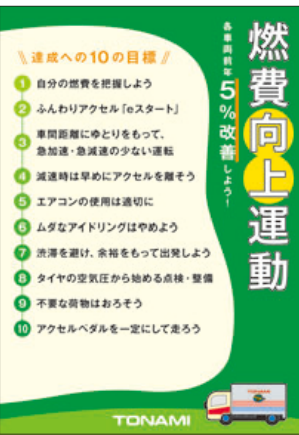
日本初的大型LNGトラックの走行試験

トナミ運輸では、一般財団法人環境優良車普及機構といすゞ自動車株式会社が推進する大型LNGトラックに関する実証走行に2018年6月から引き続き協力をしています。燃料のLNG(液化天然ガス)は二酸化炭素や窒素酸化物の排出が少なく、運輸業界が直面する環境課題解決への貢献が期待されています。持続可能な次世代車両として注目されているLNG車の社会実装をめざし、今後も継続して取り組んでいきます。



大型LNGトラック

「燃費向上運動」の実施



燃費向上運動ポスター

トナミ運輸では、「燃費向上運動」として10の目標を設定することで、エコドライブとアイドリング・ストップを促進し、CO₂排出の削減に取り組んでいます。

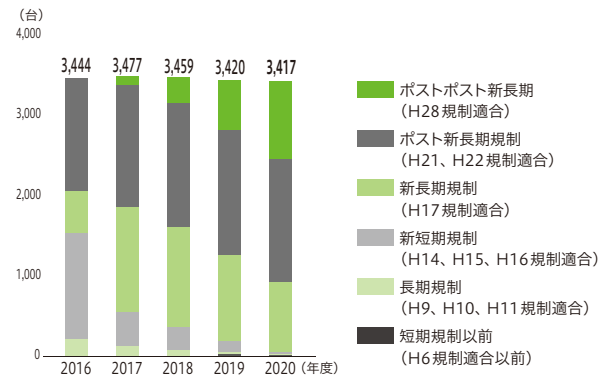
環境にやさしいトラックの導入

輸送に関わるNO_x、PMなどの大気汚染物質削減を図るため、環境に配慮したトラックを導入しています。2020年度はトナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国は、新たに340台を導入し、そのうちハイブリッド車は51台導入しました。



ハイブリッド自動車

トラック保有実績の推移 (トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国)



「トナミの森」CO₂排出量削減・里山再生プロジェクト

トナミ運輸労働組合では、組合結成70周年を迎えたことを機に、2016年より森づくり活動を通じて、CO₂削減による地球温暖化及び荒廃しつつある里山再生に貢献する活動を行っています。初年度に苗木250本を植栽し、それを維持するよう、定期的に捕植や除草、水やりなどを実施しており、累計で400本の苗木を植樹してきました。

2020年は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、役員が集結して捕植などを行うことはできませんでしたが、蕾が芽吹いた苗木のように、いつか開く明るい未来に向けて、



今後も役員が一丸となって活動を継続し、将来、花と緑にあふれ、そして意図するCO₂削減と里山再生を果たすことができるよう、社会貢献活動に全力を注いで取り組んでいきます。

■ エコドライブの実践

エコドライブとは、一言で言うと「環境に配慮した経済運転」のことです。やさしい発進を心がけたり、無駄なアイドリングを止めるなどを行って燃料の節約に努め、地球温暖化に大きな影響を与えるCO₂の排出量を減らす運転を実践しています。

エコドライブ推進の取り組み

エコドライブは、「地球環境にやさしい」「燃料費の節約」「安全運転につながる」「車両にやさしい」と、一石四鳥であることをドライバーの一人ひとりが認識し、その結果は、社内表彰制度で、エコドライブ成績優秀者を表彰しています。

駐停車時はアイドリングストップ

アイドリングストップワイヤー（キー抜きロープ）をすべての集配ドライバーに携帯させ、短時間車を離れる際も、必ずエンジンをストップするようにしています。北陸トナミ運輸では、ドライバー一人ひとりのアイドリング時間を管理し、意識付けを行うとともに優秀者を表彰しています。

エコドライブ教育

トナミ運輸は、ドライバー研修や新入社員教育時に、省燃費運転、自動車の適切な点検・整備の仕方、省燃費運転の注意事項について周知徹底を図っています。また、社会活動の要請を受け、『エコドライブと交通安全』について講師を派遣し、地域社会のエコドライブへの取り組みに協力しています。

リサイクルの推進

廃棄物削減に向けて従来の取り組みを見直し、継続的改善に努め、ゴミ減量化とリサイクルの推進を行っています。

■ 「水素バリューチェーン推進協議会」へ参画

トナミ運輸は、2021年3月「水素バリューチェーン推進協議会」に参画しました。同協議会は、水素社会の早期構築に向けステークホルダーの皆様と今後取るべき戦略の大きな方向性について議論を重ねており、水素分野におけるグローバルな連携や水素サプライチェーンの形成推進を目的とした団体です。

トナミ運輸は15年前から水素に関する取り組みを進めており、今後も物流事業者として水素エネルギー利用をはじめとした脱炭素物流への取り組みを加速させて参ります。

エコドライブ成績優秀者 COMMENT

トナミ運輸 東大阪支店 営業乗務員 田中 晶

今回エコドライブ優秀賞を頂き大変光栄に思います。私が今回特に意識したのは、シフトアップ時の回転数です。その中でも低速ギアから中段ギアに上げる時には回転数が上がりやすいので、1,000～1,500回転の間でつなぐことを心がけていました。また、2020年より当支店で行っている各リーダーによる月1～2回の班員でのタイヤ点検（空気圧、ナットのゆるみ）結果をグループミーティングで発表し、みんなで話し合ったことが、今回の受賞につながったと思います。

今後も意識高く、私個人だけでなくグループ全体でエコドライブを実践していきたいと思っています。



水素バリューチェーン推進協議会

英語名：Japan Hydrogen Association
略 称：JH2A

◆目 的：サプライチェーン全体を俯瞰し、業界横断的かつオープンな組織として、社会実装プロジェクトの実現を通じ、水素社会の早期構築

◆設立日：2020年12月7日

■ 使用済みコピー用紙・ラップ・段ボールのリサイクル

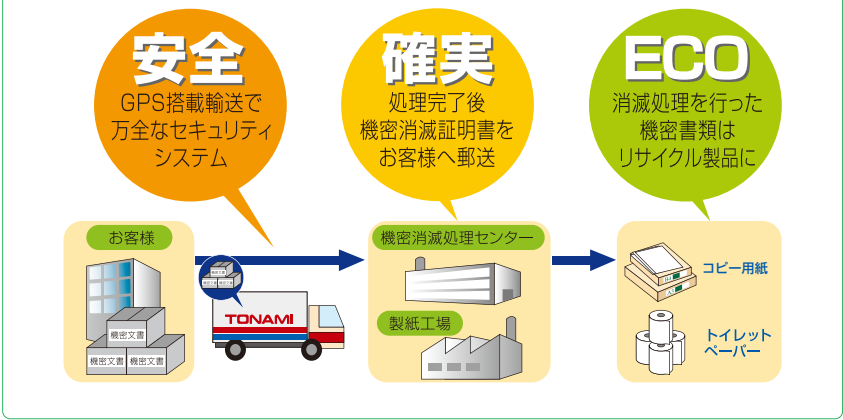
使用済みコピー用紙は裏面利用の徹底を図っており、機密文書については、各事業所に設置してあるエコポストへ入れる習慣を身に付けています。エコポストに入っている「エコロック」という段ボールは、トナミ「エコロックシステム便」により万全なセキュリティ体制のもと輸送され、消滅処理を行ったのちリサイクル製品へと生まれ変わります。

また、荷物の運搬や梱包に使用したラップや段ボールなどを分別して収集し、特定の業者に依頼しリサイクルを推進しています。



エコロックシステム便

オフィスで不要になった重要書類を、安全・確実に回収・消滅いたします。



■ 古紙再生トイレットペーパーの販売



トナミ運輸では古紙再生トイレットペーパーの販売を行っています。

このトイレットペーパーの原料となる古紙は、主に法人から出る機密文書や一般印刷物であり、多くの古紙を排出する法人様に環境保護の主旨を説明し、販売させて頂くことにより資源循環型社会づくりに結びつけています。

古紙再生トイレットペーパーの販売数は2020年度で160,416ロール、2021年度は170,000ロールを見込んでおり、これは樹木425本を伐採から保護した計算となり、これによるCO₂の吸収量は5,950kgに相当します。

また、当社の販売するトイレットペーパーは環境省所管の公益財団法人日本環境協会によるエコマーク（認定番号04108015）を取得しています。

エコマークとは「資源採取」「製造」「流通」「使用消費」「リサイクル」「廃棄」の商品ライフステージ各段階を通して環境への影響を総合的に評価、厳しい基準をクリアし認定された商品につけられるマークであり、環境保護への貢献がより高い商品の証でもあります。

そのため、当社提携の製紙工場には資源採取から生産、流通

まで一貫した省資源、省エネルギーに継続的に取り組んで頂いています。

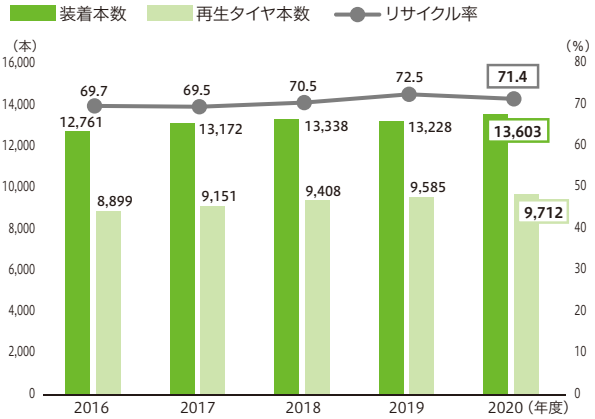
この様に当社の古紙再生トイレットペーパー販売は、単なるリサイクル商品の販売ではなく、当社環境方針にある「環境に優しい商品の開発と提供」「リサイクルシステムを構築し循環型社会づくりに貢献する」「省資源、省エネルギーに継続的に取り組む」に基づいた販売活動となっています。

■ 使用済みタイヤのリサイクル

資源の有効利用を図るため、使用済みタイヤはすべて再生タイヤメーカーに引き取ってもらっています。また、積極的に再生タイヤを使用しています。

使用済みタイヤのリサイクル実績の推移

（トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国）





特 集

太陽光発電所稼働

2020年5月、富山県南砺市に保有する遊休地を利用したのを始め、2021年3月までに、全21ヵ所の物流施設の屋根に太陽光パネルを設置し稼働しました。

最大出力は合計で8,381.27kw、年間想定発電量は8,196,496kwh、想定年間CO₂削減量は2,577,797kg、想定年間石油削減量は1,860,603ℓ、森林面積に換算すると721.94haになります。

発電した電力は全量売電しています。この事業は2012年に開始された「再生可能エネルギー固定価格買取制度」(FIT制度)を活用したもので、CO₂を削減する取り組みの一つとなっています。

さらなる企業価値の向上をめざし、これからも企業責任として地球環境保全に取り組んでいきます。

一般家庭の平均年間電力消費量に置き換えると

8,196,496kwh ÷ 4,892kwh/年 = 約1,675世帯分

※太陽光発電協会表示ガイドライン(2020年度)より

設置店名	設置場所	稼働年月	パネル容量(kw)	想定年間発電量(kwh)	想定年間CO ₂ 削減量(kg)	想定年間石油削減量(ℓ)	森林面積換算(ha)
南砺所有地	富山県南砺市	2020年 5月	718.20	754,432	237,269	171,256	66.45
黒部物流センター	富山県下新川郡	2020年 9月	227.85	210,974	66,351	47,891	18.58
富山支店	富山県富山市	2020年 9月	573.50	547,111	172,066	124,194	48.19
京阪流通センター	京都府八幡市	2020年 9月	334.95	334,183	105,100	75,859	29.43
金沢流通センター	石川県野々市市	2020年 9月	573.50	563,624	177,260	127,943	49.64
新潟支店	新潟県新潟市	2020年10月	67.89	62,436	19,636	14,173	5.50
能登支店	石川県羽咋郡	2020年10月	67.89	63,777	20,058	14,477	5.62
熊谷支店	埼玉県熊谷市	2020年10月	206.25	212,255	66,754	48,182	18.70
黒部営業所	富山県黒部市	2020年11月	266.60	246,854	77,636	56,036	21.74
小杉流通センター	富山県射水市	2020年11月	390.60	374,178	117,679	84,938	32.96
川崎支店	神奈川県川崎市	2020年11月	358.05	358,203	112,655	81,312	31.55
トナミ運輸信越㈱本社	新潟県新潟市	2020年11月	67.89	62,436	19,636	14,173	5.50
大阪中央支店	大阪府大阪市	2020年12月	501.60	509,336	160,186	115,619	44.86
富士支店	静岡県富士市	2021年 2月	485.65	463,226	145,685	105,152	40.80
久喜支店	埼玉県久喜市	2021年 2月	808.50	814,697	256,222	184,936	71.76
神戸支店	兵庫県神戸市	2021年 2月	183.70	191,315	60,169	43,428	16.85
京神倉庫㈱富山支店	富山県砺波市	2021年 2月	514.60	466,897	146,839	105,986	41.12
相模支店	神奈川県海老名市	2021年 3月	546.70	516,265	162,365	117,192	45.47
加古川支店	兵庫県加古川市	2021年 3月	233.85	233,626	73,475	53,033	20.58
浦和支店	埼玉県さいたま市	2021年 3月	584.10	569,223	179,021	129,214	50.14
中央支店	富山県射水市	2021年 3月	669.40	641,448	201,735	145,609	56.50
合 計			8,381.27	8,196,496	2,577,797	1,860,603	721.94

南砺所有地

富山県南砺市天池字二番野島1555-1

黒部物流センター

富山県下新川郡入善町若栗新231-1

富山支店

富山県富山市宮町334-1

京阪流通センター

京都府八幡市上奈良池ノ向60-1

金沢流通センター

石川県野々市市二日市2-150

新潟支店

新潟県新潟市西区北場1087-1

能登支店

石川県羽咋郡宝達志水町南吉田ろ33-1

熊谷支店

埼玉県熊谷市御稜威ヶ原字下林673-15

黒部営業所

富山県黒部市沓掛字道上割2000-17

小杉流通センター

富山県射水市流通センター青井谷2-1-1

川崎支店

神奈川県川崎市高津区溝口5-13-18

トナミ運輸信越㈱本社

新潟県新潟市西区北場1087-1

大阪中央支店

大阪府大阪市鶴見区焼野3-2-11

富士支店

神奈川県富士市柏原29

久喜支店

埼玉県久喜市蒲町三箇5

神戸支店

兵庫県神戸市東灘区向洋町東4-15-2

京神倉庫㈱富山支店

富山県砺波市西中631-6

相模支店

神奈川県海老名市上郷4-1-2

加古川支店

兵庫県加古川市尾上町池田字田開拓1897-6

浦和支店

埼玉県さいたま市緑区中野田1045

中央支店

富山県射水市津幡江95

Social



社会とのつながり

地域社会とのコミュニケーション



福祉施設への支援活動や次世代育成など、様々な地域活動に参加し、社会に貢献しています。

新型コロナウイルス感染症対策への取り組み

対策本部の設置

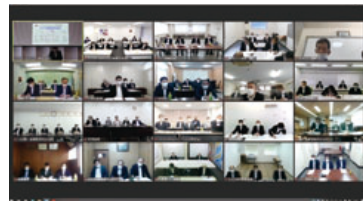
トナミホールディングス代表取締役社長を本部長とする対策本部を設置し、国内外の感染拡大状況、政府及び専門家会議の見解を踏まえつつ、感染拡大防止策を講じています。

感染拡大防止策

- 「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル・ハンドブック」の配布
- 手洗い・うがい・手指消毒・咳エチケットの実施
- マスク着用の指示
- 換気の徹底(毎日、一斉換気時間を設定)
- 消毒清掃の実施
- 日常行動自粛指示
- 公共交通機関利用者への通勤手段の見直し(時差出勤の実施、最寄り事業所での勤務)
- 出張、会議、研修の自粛、テレビ会議の実施
- テレワークの実施
- 体調不良時の対応の徹底(社員全員の検温実施と健康状態の確認)
- 感染拡大防止を目的とした臨時休校への対応(小学生以下の子・特別支援学校に通学する子・臨時休校に伴い休務が必要な社員には特別休暇を付与)
- 受付、応接室の亚克力板使用
- コロナワクチン接種による「ワクチン休暇」導入



倉庫作業用間仕切り設置



WEB会議の様子



受付亚克力板設置



アルコール消毒とサーモグラフィー設置

福祉支援活動

一般財団法人トナミホールディングス松寿会は、1994年3月にトナミ運輸(現トナミホールディングス)の創立50周年記念事業として、社会福祉の増進を図り、もって豊かで住みよい社会の発展に寄与することを目的に設立された団体です。

2014年4月1日、富山県内に限定されていた事業活動を全国で、かつ、より自由に行えるように財団法人から一般財団法人へ移行し、同時にトナミ松寿会からトナミホールディングス松寿会へ名称変更しました。

2020年度は北陸地域の4福祉団体へ福祉車両を1台ずつ寄贈しました。また、災害助成事業として富山県共同募金会を通じて令和2年7月豪雨災害義援金100万円を寄付しました。

このほか富山県内外10ヵ所の子ども食堂へ合計130万円の寄付を行いました。子ども食堂の運営者の方からは「元気いっぱいの子どもたちの喜ぶ様子を見ることができました」などと感謝の言葉をたくさん頂いています。

福祉車両贈呈

特定非営利活動法人
工房あおの丘
社会福祉法人あかね会
社会福祉法人立野福祉会
社会福祉法人清寿会



子ども食堂助成

こども食堂ひよこ
にながわふれあい子ども食堂
木津ふれあい食堂
いみず子ども食堂
寺子屋こども食堂
ちょっこおいでま
こども食堂キャンパス
芝園こども食堂
子育て支援寺子クラブ
寺子こども食堂
オタヤこども食堂
やなぎまち子ども食堂in 空満



にながわふれあい子ども食堂のみなさん

交通遺児支援募金

トナミ運輸労働組合は、組合員から寄せられた募金175,177円を交通遺児支援に役立ててもらうため富山県善意銀行に預託しました。

業務上、道路を利用することから、2011年から毎年募金を呼び掛けており、2020年度は組合員600人が協力しました。地域貢献活動の一環として、これからも続けていきたいと思っています。

AEDの設置について

日本では、心臓突然死で命を失っている方が、1年間で約7.9万人、1日で約200人いると言われています。

トナミ運輸では、心臓突然死の主な原因である「心室細動」が起こり心臓への電気ショックが必要となった場合に備え、各事業所に1台、合計72台のAED(自動体外式除細動器)を設置しました。誰でもすぐに使えるような目立つ場所に、救命の流れをわかりやすく表したポスターとともに設置し、また、使用講習会の実施をはじめ、いつでも使用方法を確認できるよう、社員のパソコンには、一連の使用方法、救急車が到着するまでの対応についての動画がダウンロードされています。このほか、事業所のパソコンには定期的にデジタルサイネージでAEDの設置について掲示しています。

また、社員だけでなく、近隣で発生した万一の事態への開放使用も想定し、地域社会への貢献もめざします。



AEDポスター



AED

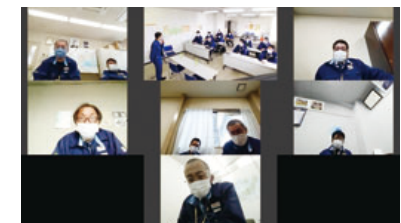
防火講習会の実施

トナミ運輸は、防火管理者の意識向上を図るため消防署から講師を招き、防火講習会を実施しています。

1年に2回、全国7拠点ごとに、事業所の責任者や防火管理者を集め集合教育(WEB含む)を行うことで、定期的な情報収集と知識の向上を図ることを目的としています。3月に実施した講習会には合計118名の防火管理者が受講しました。

講習内容は、過去の火災の事例や発生状況からの防火対策、防火管理者の責務や意義についての講義をはじめ、消火訓練の実施など、座学と実技を交えてのものでした。

火災予防管理の充実、災害から身を守る防災対策、災害発生後の被害を少なくする減災対策を充実させることで、社員の



安全を守る体制づくりを推進していきます。

ペットボトルキャップの収集

トナミ運輸では、社会貢献活動の一環として2019年11月度より「NPO法人Reライフスタイル」が実施する「ペットボトルキャップ収集活動」に参加しています。集まったペットボトルキャップは樹脂メーカーへ引き渡し、その対価を「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)」へ寄付、



感謝状

その後、「国連児童基金(ユニセフ)本部」から世界のこどもたちにワクチンが届けられています。また、ペットボトルキャップをゴミとして燃焼せずマテリアル(材料)リサイクルすることでCO₂排出削減にも寄与されます。

これまでに回収したキャップの数は約100,040個、約200名分のこどものワクチンに該当します。

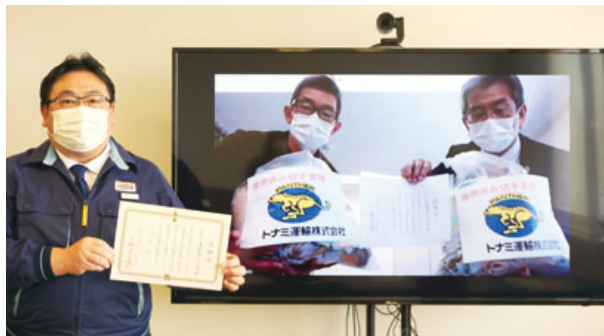
使用済み切手の寄贈

トナミ運輸では、使用済み切手の収集活動により集まった切手を「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)」へ寄贈しました。当日は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、初のWEB贈呈式を試みました。

寄贈した使用済み切手はJCVを通して換金され、ミャンマー・ラオス・ブータン・バヌアツ共和国などのこどもたちが接種するワクチン関連の支援金となります。今回寄贈した



感謝状



WEB 贈呈式の様子

約53,700枚、約1.4kgの使用済み切手は、ポリオワクチンになると約1,000人分のこどもの命を助ける力となります。

ランドセルをアフガニスタンへ寄贈

トナミホールディングスグループは、「国際協力NGOジョイセフ」が行っている“思い出のランドセルギフト・眠っているランドセルをアフガニスタンの子どもたちへ”と題した取り組みに参画しています。

これは、侵攻や内戦などにより学校教育を受けられていないアフガニスタンのこどもたちにランドセルを贈ることで、こどもたちが、自分や家族の健康を守るための知識を得る教育向上に貢献しようとジョイセフが行っている取り組みです。



トナミ運輸としては3回目、トナミグループとしては今回で2回目の寄贈となります。今回は合計150個のランドセルが集まりました。

集まったランドセルはジョイセフを通じて海を渡り、秋にはアフガニスタンのこどもたちへ届けられます。

募金型自動販売機の導入

トナミ運輸では、提携のベンダー企業に協力を依頼し、募金型自動販売機を導入しました。

地球温暖化対策が求められている中、わずかでもCO₂削減に貢献したいと考え、「緑の募金」に寄付できる自動販売機の導入を決めました。

収益金の一部は地方緑化推進委員会を通じて公益社団法人国土緑化推進機構に寄付され、全国の緑化推進活動費用に充てられます。



今後はこの活動を当社グループ各社に広め、環境にやさしい活動への取り組みを推進していきたいと考えています。

ベルマークなどの収集

トナミ商事では、毎年、ベルマークや使用済み切手、書き損じはがきを収集し、高岡市社会福祉協議会へ寄付しています。これまでにベルマーク多数のほか、使用済み切手を1.5kg、書き損じはがき208枚を寄贈しています。

寄贈した切手やはがきは換金され、ボランティア活動の推進や、各種社会福祉事業などに役立てて頂いています。身近に取り組める活動として、今後も継続して収集していきたいと思っています。

こども110番の家

東洋ゴム北陸販売では、社会貢献活動の一環として小学生の通学路沿いにある魚津営業所・砺波営業所・タイヤプロいみず店で「こども110番の家」として協力しています。

こども110番の家は、不審者に声をかけられるなど危険を感じて助けを求めてきたこどもを一時的に保護し、警察などに通報する場所のことです。

現在までには、幸いにも警察に通報するといったような危険なケースには遭遇しておりませんが、こどもが学校から



こども110番の家

の帰宅途中、転んで怪我をしてしまったため、消毒や絆創膏を貼って応急処置をしたり、トイレを貸してあげたりなどの活動を行っています。

こどもたちが困っているときの手助けになったり、少しでも安心な社会づくりに貢献できるように今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。

地域清掃活動

地域環境保全のため、社会の一員として地域のボランティア活動に積極的に参加し、事業所周辺の道路は定期的に清掃しています。

2020年11月15日、トナミ運輸福井支店の社員44名と、当社ドライバーがコーチを務める野球チーム「学童あそうぶファイヤーズ」のこどもたち25名の合計69名で、朝9時から約一時間、福井支店の周辺道路や歩道のゴミ拾い活動を行いました。

初めて清掃活動に参加するこどもたちが多い中、「とても楽しかった」という声が聞かれました。集まったゴミは、ゴミ袋40袋分にもなり、コロナ禍でクラブ活動自粛が続くこどもたちにとって、社会貢献活動に参加できたことがよい経験になったようです。



お菓子の寄贈

阿南自動車では、地域ボランティア活動実施について、どんなことができるのかを模索していた時、荷主である菓子問屋株式会社山星様より、メーカーからのサンプル品、販売期限切れのお菓子を提供くださることとなり、社会問題でもあるフードロスの削減取り組みも兼ねて地域の学童保育所、子ども食堂、地元のイベントに社会貢献活動として参加しました。

後日、この活動を別の菓子メーカー様へお伝えしたところ、賛同くださった数社様が同様の商品を提供くださり、2020年は大変多くの団体、行政へ寄贈できました。

当初はこどもたち中心の寄贈でしたが、2020年は日赤奉仕団を通じ、コロナ禍で日々のご苦労されている医療従事者の方々へ甘いお菓子で心を和ませて頂ければと昭和伊南総合病院へも寄贈させて頂くことができ、範囲がぐっと広がりました。

今後も、引き続き荷主様による協賛をお約束頂いておりますので、恒例活動としてお菓子の役割である、「栄養補給」「気分のリフレッシュ」「コミュニケーションの演出家」を大勢のこどもから大人までに提供するお手伝いをしていきたいと思っています。



寄贈の様子

献血の実施

トナミ運輸では、社会貢献活動として富山県内の事業所において定期的に献血に協力しています。



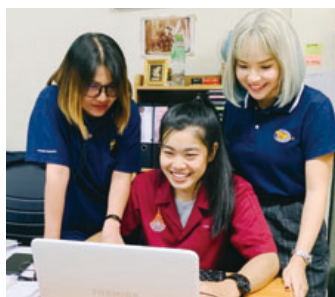
病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんの尊いいのちを救うため、今後も継続的に献血活動に取り組んでいきます。

■ インターンシップ

トナミタイランドグループのマハポーン・トランスポートは、周辺大学の物流を選考する学生たちを常時インターンシップとして受け入れています。

マハポーン社が位置するレムチャバン港は、タイ最大の国際貨物港です。海上コンテナの取り扱いでは世界中で上位に入る規模です。そんなレムチャバン港周辺には物流系学部を有する大学が数校あり、外資系船会社、通関会社、物流会社などをめざす生徒たちが多数います。

2020年度は、所轄税関など役所からの協力要請により物流専攻3年生の学生を5名受け入れています。就業期間は4ヵ月、



書類作成、請求入力、構内軽作業などが学生達の主たる業務です。インターンシップの受け入れで人材育成に協力し、地域に貢献できれば願い、取り組んでいます。

COMMENT



Akira Soiluang
アキラ・サウアハイエさん

主な職場体験内容
経理の補助業務、ドライバーのコンテナ搬出料チェック、支払入力など

社内がファミリーで温かい環境、指導監督の方にも優しく丁寧に指導して頂き、楽しく研修させて頂いています。物流会社で経験を積み、将来は起業したいです。

■ 富山グラウジーズチケットの贈呈

トナミ運輸は、日ごろから応援している富山グラウジーズ（バスケットボール）のホームゲーム観戦チケット270枚を、富山県内の福祉施設4団体（愛育園、高岡愛育園、ルンビニ園、富山県聴覚障がい者センター）へ贈呈させて頂きました。



こどもたちが、テレビでは味わえない迫力や臨場感を体験し、楽しい思い出を作ってもらえることを願っています。

■ ときどきわくわくまち探検 会社見学

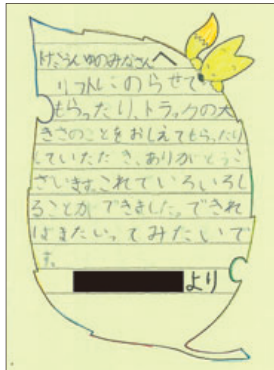
2021年6月18日に、砺波市南部小学校の2年生8名が「ときどきわくわくまち探検」と題した小学校の体験学習にトナミ運輸 砺波支店を訪れました。

「ときどきわくわくまち探検」とは、こどもたちにとって身近な地域のよさや自分たちの生活との関わりを理解し、地域に親しみや愛着を持ってもらうために行われている校外学習で、砺波支店には5年ほど前から、毎年こどもたちが見学に訪れています。

日本地図を見ながら、日本全国を走るトラックの仕事について説明した後は、ホームに並んでいる荷物を見学。実際に安全に停止したリフトに試乗してもらいました。また、トラックの外からと、荷台の中の様子も見てもらいました。最後には、こどもたちからたくさんの質問が飛びかいました。

当社を見学してもらい、こどもたちに地域のよさを感じてもらうことで、地域に貢献できる喜びを実感しています。

後日、こどもたちからお礼の手紙が届きました。



■ 支援学校就業体験

トナミ運輸 富山流通センターでは、障害を持っている方の就業体験を積極的に受け入れており、2020年は富山県立高岡支援学校の生徒を1名受け入れました。

就業体験は、職業人としての基礎的能力の育成と職業意識の啓発を図り、自立できることを目的として実施されています。

富山流通センターでは、段ボールの組み立て作業を体験して頂きました。このような活動に積極的に取り組むことで、あらゆる人の社会参加を支援していきたいと思えます。



■ プロ・アマスポーツチームへの協賛

トナミ運輸は、地域貢献活動の一環として、様々なスポーツチームを支援しています。

富山グラウジーズ【バスケットボール】

富山県富山市を本拠地としてBリーグに所属するプロバスケットボールチームです。



カタレ富山【サッカー】

富山県をホームタウンとする、Jリーグに加盟するプロサッカークラブです。



富山GRNサンダーバース【野球】

プロ野球独立リーグ・ベースボール・チャレンジ・リーグに所属する富山県のプロ野球チームです。



KUROBEアクアフェアリーズ【バレーボール】

富山県黒部市を本拠地として、Vリーグに所属している女子バレーボールチームです。



アランマーレ女子ハンドボールチーム【ハンドボール】

富山県射水市を拠点とし、日本ハンドボールリーグに所属している女子ハンドボールチームです。



TOPICS

令和2年度全日本総合選手権大会

2020年春頃から世界で猛威を振るい始めた新型コロナウイルス感染症にて、4月以降国内外の大会イベントなどが中止となる中、国内で唯一開催された令和2年度第74回全日本総合選手権大会においてバドミントン界男子次世代の3選手、保木・小林の男子ダブルスと常山の男子シングルスがともに準優勝を収めました。



■ スポーツ支援活動

トナミ運輸 バドミントン部

トナミ運輸男子バドミントン部は、国内の団体戦・個人戦において優勝上位入賞を収め、国内トップチームに成長しています。特に2019年のS/Jリーグでは4連覇を達成しトナミ運輸チームとして通算10回目のリーグ優勝を達成しました。

日本代表選手が11名在籍し、男子ダブルスの「ソノカム」ペアこと園田・嘉村は、令和2年度全日本総合選手権大会では3位、2021年3月の全英選手権大会では準優勝を収め、世界ランキングも5位、世界トップで活躍しています。



令和2年度全日本総合選手権大会 園田・嘉村ペア

高岡ジュニアクラブ指導

トナミ運輸バドミントン部は、高岡市バドミントン協会が運営しているジュニアクラブに2005年4月からスタッフ・選手を派遣しています。

2021年3月に行われた日本代表ジュニア(U13)選考会において、高岡ジュニアクラブ所属の選手3名が選出されました。また、高岡ジュニアクラブ出身の選手が2021年3月に開催された第49回全国高等学校選抜大会個人ダブルスで優勝を収めています。



近い将来、世界で活躍する選手が現れることを期待しながら、日々、ジュニア達と楽しく練習しています。

高岡ジュニアクラブ

曜 日 毎週月曜日～土曜日
時 間 18時30分～21時
会 場 東洋通信スポーツセンター 高岡市竹平記念体育館
参加者 小学生 約30名 中学生 約12名
指導者 高岡市バドミントン協会・トナミ運輸バドミントン部

働きやすい職場づくり

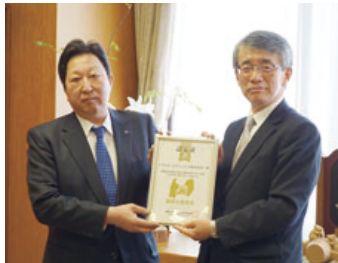
人事制度、教育制度により、個々の人材を伸ばし、また、職場の安全確保、社員の「こころ」と「からだ」への配慮を通し、働き方改革の取り組みの一貫として社員一人ひとりが活躍できる職場づくりを奨励しています。

健康経営の推進

トナミホールディングスグループは、社員の健康保持・増進を支えるため、様々な施策を行い健康経営に取り組んでいます。



健康企業宣言 認定証



健康企業宣言認定書授与式

認定を受けて、今後も「健康＝最重要経営課題」という考えに基づき、お客様への信頼度向上・採用活動の普及、社員及び



健康経営優良法人 認定証

ご家族の心身の健康保持・増進に向けた活動に全力で取り組んでまいります。



■特定保健指導

協会けんぽが実施する40歳以上のメタボ該当者を対象とした特定保健指導を、全事業所において、タブレット端末を使った遠隔面談で実施しています。2021年度は6月末までに252名が受診し、ドライバーの受検率が大幅にアップしました。

■脳MRI健診

脳血管疾患に起因する健康障害を未然に防止する目的で、50歳と55歳の節目年齢の長距離ドライバーに加え、2021年度からは50歳の節目社員を対象に実施しています。2021年度は、180名を予定し、全国204医療機関で受診できます。早期発見につながった例もあり、産業医指導の下、診断結果に応じた指導を行っています。

■インフルエンザ補助金

社員のインフルエンザ感染予防と蔓延防止対策とし

て、インフルエンザ予防接種を行った社員に対して補助金を支給しています。

■社内自動販売機にカロリー・糖質表示

■階段用消費カロリーステッカー

社員の工作中的飲み物や階段の活用で歩数を増やすことが、社員の健康度アップにつながるため、会社としてサポートしていきます。

■新入社員・ドライバーを対象に健康教室開催

社員の健康と安全を守るため、健康教室を開催し、健康起因事故を防ぐための学びの機会を設けています。

■メンタルヘルスの取り組み

①ストレスチェック実施

全社員を対象に、年1回ストレスチェックを実施。受検率は毎年アップしており、職場の集団分析結果は、中央安全衛生対策審議会に諮り、職場環境改善に活用しています。また、外部カウンセラーによる相談窓口を設置し、希望者全員に産業医面接を実施しています。

②心の健康づくり表明

わが社のメンタルサポートとして、全事業所にポスターを掲示しPRしています。

③階層別メンタルヘルス研修開催

新入社員や昇格者などを対象に、こころの健康状態を問い、社員のための健康な職場づくりを推進していくためセルフケアからラインケアについて学んでいます。

メンター制度

トナミ運輸では、新入社員の早期離職を防止するため、メンター制度を導入しています。

対象は内勤職とドライバー職であり、入社時からの関わりを深めることで、悩みや不満の早期解決を図って人材の定着につなげています。

当初は新入社員への声掛け・悩みを相談できる理解者としての役割をメンターに求めていましたが、徐々に良き助言者・指導者としての役割が強くなっており、メンターに設定されている先輩社員の意識の向上にも表れています。



女性ドライバーの活躍

労働人口減少に伴うトラックドライバー不足の中で、女性ドライバーの活躍が進んでいます。トラックドライバーというと、過去から男性の職業というイメージが強く、トナミ運輸においても働くドライバーの大半が男性です。商業貨物を多く取り扱うトナミ運輸の特積事業において、男性に負けず頑張っている女性ドライバーが増えています。力では男性に敵いませんが、仕事に取り組む姿勢は男性にも負けません。これからも女性ドライバーが活躍できる職場づくりを進めていくことも、トナミ運輸の将来につながるものと考えています。

女性ドライバー COMMENT



石川トナミ運輸
石川営業所
区域乗務員
村松 さゆり

若いころからずっと運送関係の仕事に携わってきています。物流関係の仕事は色々な人との関わりがあり楽しいです。年齢とともに体力が落ちてきているので、仕事量の多い時は苦勞します。最近は会社の配慮でカゴ車などの配送を多くして頂いています。運転することも嫌いではないので、天気の良い日などは気分も軽やかにドライブ気分です。頑張っています。「安全は全てに優先する」この言葉を胸に刻みながら、これからも無事故で安全運転に努めたいと思います。

女性営業スタッフの活躍

お客様が抱える物流課題は多様化・複雑化し、ご満足頂けるサービスを提供していくためには、実運送の精度向上だけではなく、個々のお客様のニーズをこまめに把握し、適時営業提案していくことが求められています。会社全体の営業力増強を目的として、2020年7月に営業アシスタント制度を開始しました。特に就労男性比率が高い運送業界において、性別を問わず社歴の浅い方、他業務従事者で兼務可能な方から18名を選任し、お客様とのインターフェイス拡大に取り組んでいます。



COMMENT



トナミ運輸 葛西支店 営業担当
石井 礼奈

お客様とお話する中で分からないこともまだ多いですが、上司にアドバイスを受けながら、お客様から信頼される営業担当者になれるよう対応していきたいと思います。



トナミ運輸 葛西支店 営業マネージャー
吉澤 剣悟

キャリア形成の中で、実際のお客様と対面で営業する経験は、お客様の思いや考えを理解する上で重要だと思います。OJTを通じて逆に学ぶことも多いのですが、自信を持ってお客様と交渉できる物流担当者になれるようサポートしていきたいと思います。

育児休暇を取得して

京神倉庫 国際大阪支店 鈴木 祐衣子

私は2回育児休暇を取得しました。1回目、2回目共に、復帰後は今まで通りの内容の仕事をさせてもらい、さらに少しずつ新しい案件に携わせてもらうなど、業務の幅を増やすことができています。時短勤務で業務や時間に限りがありますが、上司・同僚に協力してもらいながら取り組んでいます。子どもの病気で急に休まなければならない時も、理解ある職場のおかげで休みも取りやすく助かっています。

普段から情報の共有をすることや、資料をまとめておくことを心掛け、限られた時間の中で迅速かつ正確な仕事をするを常に考えているので、以前より質の良い仕事ができています。

休みの日には、子どもたちとたくさん触れ合ってリフレッシュしています。子どもたちとお喋りしたり、散歩をしたりする時間は私の癒しとなっています。そういった場があることで仕事にも精が出ますし、オンとオフのメリハリをつけることで充実した日々が過ごせていると感じています。

まだまだ子どもが小さいですが、周りの協力を得つつ、これからも意欲的に仕事に取り組み、活躍したいと思っています。



Governance

ガバナンス

コーポレートガバナンス

トナミホールディングスグループは、コーポレートガバナンスを強化し、社会・ステークホルダーから信頼される企業として、さらなる価値創造をめざします。



役員紹介

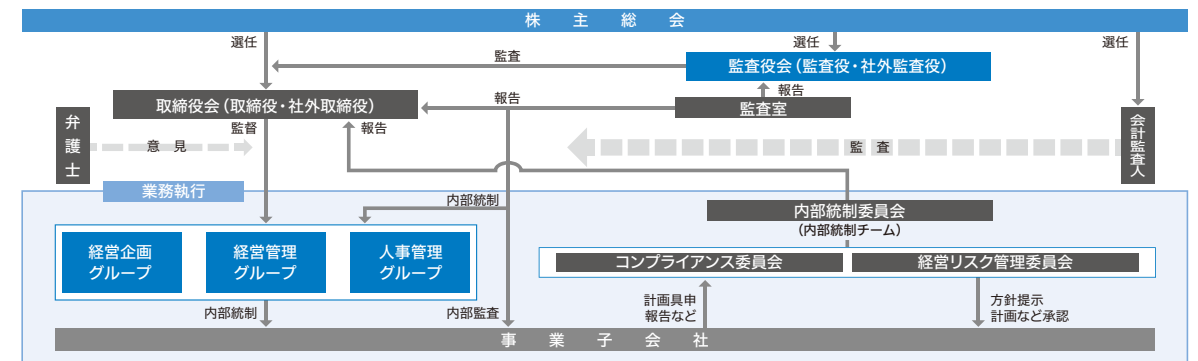
常勤監査役 輪達 光春	常勤監査役 三枝 保弘	監査役 尾田 利之※	監査役 松村 篤樹※	常務取締役 寺拝 豊信	取締役 佐藤 公昭
----------------	----------------	---------------	---------------	----------------	--------------



専務取締役 泉 伸一	専務取締役 高田 和夫	代表取締役社長 綿貫 勝介	取締役 犬島 伸一郎※	取締役 早水 暢哉※
---------------	----------------	------------------	----------------	---------------

※取締役 犬島伸一郎氏、早水暢哉氏は社外取締役、監査役 松村篤樹氏、尾田利之氏は社外監査役であります。

■ コーポレートガバナンス体制組織図



①会社の機関の内容及び内部統制システム

当社は、経営方針及び経営戦略に関わる重要事項を担当する機関として、社外取締役2名を含む9名で構成する取締役会を設置しております。

取締役会は、取締役会規則に基づいて月1回これを開催することを原則とし、その他必要に応じて随時開催して、取締役会の意思疎通を図るとともに相互に業務執行を監督し、必要に応じて外部の専門家を起用し、法令定款違反行為を未然に防止することといたしております。

また、内部統制構築の一環として、監査役制度を採用しており、常勤監査役2名、社外監査役2名の4名体制で構成し、監査役は取締役会及びその他重要会議への出席や意見の具申などで取締役の適法性について監査しております。

取締役の職務執行については、監査役会の定める監査の方針及び分担に従い、社外監査役を含め各監査役の監査対象となっております。

取締役が他の取締役の法令定款違反行為を発見した場合は、直ちに監査役及び取締役会に報告し是正を図ることとしており、内部監査部門として業務執行部門から独立した監査室を置いております。

なお、一般株主との利益相反が生じるおそれのない独立役員4名を選任し、外部の視点での取締役会の監督機能の強化を図ることとしております。

さらに、コンプライアンス体制の基礎として「トナミグループ社員行動規範」を定め、意思決定機関として社長を委員長とする内部統制委員会を設置し、内部統制担当役員を中心とする内部統制システムの向上を図っております。

コンプライアンスの統括組織としてコンプライアンス委員会を設置し、内部統制チーム（監査室内）が内部統制体制の維持・向上のための統括・運営・研修を実施しております。

事業子会社における業務の適正を確保するため、グループ事業子会社すべてに適用する行動指針として「トナミグループ社員行動規範」及び、「グループ運営規程」を定めるとともに、これを基礎として、グループ事業子会社で諸規程を定めております。なお、経営管理については、「グループ会社管理要領」により、承認・報告事項を定め、事業子会社経営の管理を行っております。

②内部統制システムの整備の状況

当社グループの内部統制システムの整備状況にあたっては、経営リスクマネジメントに関する基本方針を定め、事業子会社の運営に影響を及ぼすおそれのある様々なリスクへの適切な対応を行い、経営基盤の安定化を図るとともに、万が一、経営リスクが発生した場合の影響を極小化し、当社グループの損失及び社会的損失をできる限り発生させないよう取り組んでおります。

さらに、コンプライアンスの重要性を認識し、コンプライアンス委員会を設置し、「トナミグループ社員行動規範」に基づき、トナミホールディングスグループ事業子会社の役員社員に企業倫理と法令遵守を浸透させるため推進担当者を選任し、コンプライアンスに関わる教育説明会を実施しております。

また、企業活動において、あらかじめ違反行為が起り得る可能性を抽出し、未然防止を図るよう推進状況を報告させ、違反行為が発生した場合は早期に解決し、再発防止を講ずるコンプライアンス体制を構築しております。

なお、取締役会が決定した基本方針に基づき、速やかな業務執行に努めており、経営に関する法令遵守事項などについては、必要に応じて公認会計士や弁護士などの専門家から助言を受け参考としております。

そして、「グループ運営規程」を基礎として、グループ事業子会社各社で諸規程を定め、「グループ会社管理要領」により承認・報告事項を定め、事業子会社の経営管理を行うことにより、経営環境の変化に速やかに対応する体制を整え、経営の健全化に努めております。

また、業務執行が適切で効率よく行われているかについては、監査室による内部監査を実施し、監査役及び取締役会に報告を行っております。

反社会的勢力に対しては、毅然とした態度で臨み、一切の関係を持たないこととしております。また、不当要求などの介入に対しては、警察などの外部専門機関との緊密な提携のもと、関係部署が連携・協力して組織的に対応し、利益の供与は絶対に行わないこととしております。

■ コンプライアンス体制の整備

当社グループは、遵法及び倫理の観点から、役員・社員が心がけるべき基本事項を、「トナミグループ社員行動規範」として定めています。2015年6月には法務部を設置し、法的リスクへの適切かつ機動的な対応を強化しました。

コーポレートガバナンス体制の一環としてコンプライアンス委員会、その傘下に事業子会社のコンプライアンス部会を設置しています。

■ トナミグループ社員行動規範

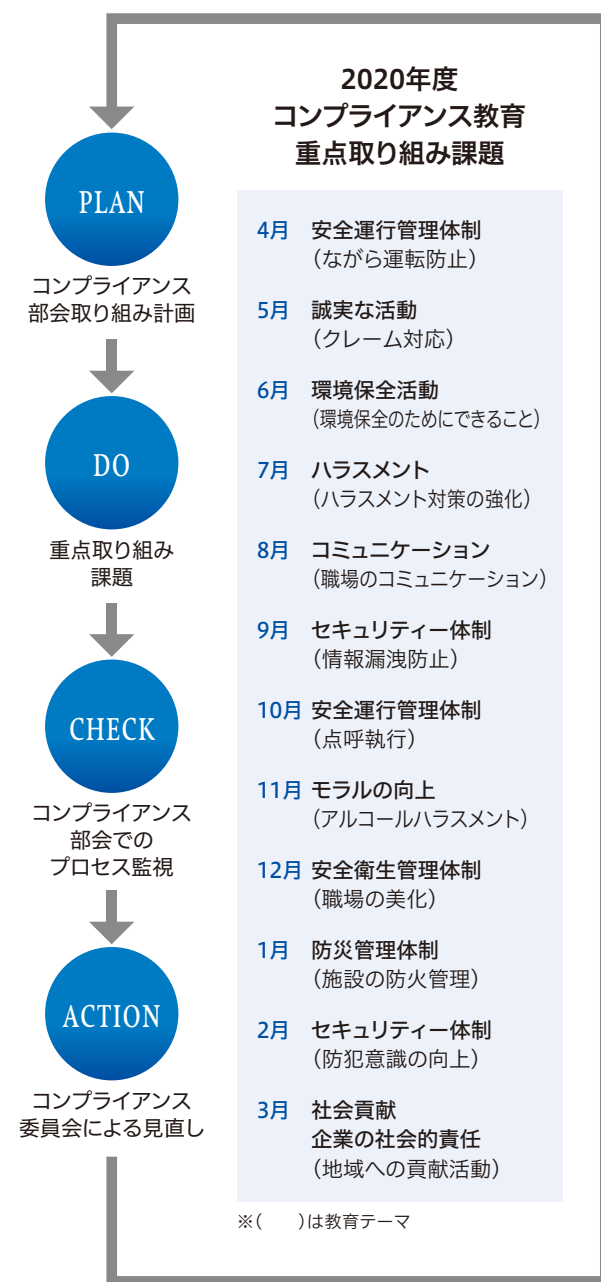
- ① お客様に、常に安全・確実・迅速な物流サービスを提供します。
- ② 地球環境を守るために、物流サービスのあらゆる段階において環境負荷低減に努めます。
- ③ 輸送活動にあたって、法・社会倫理・社内規程を遵守します。
- ④ 公正な企業活動をします。
- ⑤ 整理・整頓に心がけ、清潔を保って快適な作業環境を維持します。
- ⑥ 基本的人権を尊重し、良好な職場環境を維持します。
- ⑦ 企業情報・得意先情報・個人情報の保護に細心の注意を払います。
- ⑧ 得意先の価値創造に役立つコンセプトを構想、提案します。
- ⑨ コンピュータ・ネットワークの不正な利用、業務目的以外の使用をしません。



■ コンプライアンス教育の取り組み

2020年度のコンプライアンス教育は、重点取り組み課題として社会環境とともに変化する様々なリスクの低減に向け、地域特性や事業環境に合致した情報発信や問題提起を行い、全職種共通テーマと職種別テーマに分けてコンプライアンス各部会で教育を実施しました。

その教育の実施状況について、各部会から結果報告を求め、コンプライアンス委員会で評価を行い、マネジメントレビューを実施しました。今後とも定期的にPDCAサイクルを回すことによって継続的にコンプライアンス意識の向上を図ります。



■ 相談窓口の設置

法令違反などの早期発見と未然防止を主な目的として社内通報窓口を設置しているほか、ハラスメントに対する外部相談窓口を設置しています。

相談窓口の運営にあたっては、別で定める「コンプライアンス規程」を遵守し、関係する個人のプライバシーを十分に尊重しています。相談内容は、相談者本人の同意がない限り、社内外を問わず一切共有・公開はしません。また、相談によって社内 で不利益を被ることは一切ないことを保証しています。

コンプライアンスホットライン(社内通報窓口) トナミグループホットライン(外部相談窓口)



ホットラインポスター

ハラスメント、社内の不正行為、不正な取引、倫理規程違反などの事実があった場合の通報窓口として、社内通報窓口、外部相談窓口としてコンプライアンスホットラインを設置しています。顧問弁護士事務所と連携し、通報者のプライバシーを守ります。

■ リスク管理体制の整備

経営リスクマネジメント方針を定め、社長を最高責任者とする経営リスク管理委員会を設置し、事業運営に影響を及ぼす様々なリスクに対応するために「トナミホールディングスグループ経営リスクマネジメント管理規程」を制定しています。

経営リスクマネジメント方針

自然災害、事故などの人為的災害、及び経営上の様々なリスクに的確に対処し、経営目標の達成を阻害するすべての要因を可能な限り防止し、排除することにより、社会的責任を果たす。

経営リスクマネジメント行動指針

- ① 経営リスクマネジメントに関する計画を策定し、実施する。
- ② 当社の役員及び従業員等及び関係者の安全・健康を確保する。
- ③ 当社の資産の保全を図る。
- ④ 経営リスクが顕在化した場合には、責任ある行動をとる。
- ⑤ 被害が発生した場合には、速やかな回復を図る。
- ⑥ 経営リスクに関連する社会的要請を当社の経営リスクマネジメントシステムに反映する。

■ ISMS認証取得

お客様の個人情報や情報資産の管理強化、サービスの安全性・信頼性の一層の向上を図るため、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS) 認証取得を奨励しています。トナミシステムソリューションズは、2007年3月及び2009年8月にISMSの認証を取得しました。



ISO/IEC 27001:2013 / JIS Q 27001:2014認証取得済
上記は、インターネットプロバイダ業務及びデータセンター運用サービスのものです。

■ 公益通報者保護法への対応

当社は、「トナミホールディングスグループ社内通報規程」を制定しています。監査室を通報・相談窓口として、①通報者の保護、②グループ内に潜むリスクの早期発見、③不正通報の濫用の抑止などに努めています。

■ 個人情報保護の取り組み

2005年4月の個人情報保護法の施行に伴い、個人情報の適切な利用と保護のための実践遵守基準を明確にした「個人情報保護コンプライアンスプログラム」を制定しています。お客様や取引先の個人情報の利用目的の適正利用を原則として、細心の注意をもって、責任ある取り扱いに努めています。また、2016年1月からのマイナンバー制度の本格的な運用開始に伴い、当社グループは、「特定個人情報の適正な取扱いに関する方針」及び「特定個人情報等取扱規定」を作成し、マイナンバーをはじめとする特定個人情報の管理について、必要かつ適切な安全管理措置を行う体制を確立しました。今後も特定個人情報を取り扱う事務従事者への教育を実施し、特定個人情報が適切に管理運用されるよう徹底していきます。

トナミホールディングスは、プライバシーポリシーをホームページ上で公開しています。
<http://www.tonamiholdings.co.jp/privacy/>

GO! NEXT!



次のスピードに挑む。次の精度に挑む。

TONAMI

トナミホールディングス株式会社

〒933-8788 富山県高岡市昭和町3-2-12

TEL(0766)32-1073 FAX(0766)32-1077

<http://www.tonamiholdings.co.jp/> (本報告書はホームページでもご覧頂くことができます。)

UD
FONT
by HIRAGINO

見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。